SONY

3-861-250-**02** (1)

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MD Cyber-shot

MD DATA　MiniDisc　Picture MD

DSC-MD1

必ずお読みください

液晶画面について

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と黒、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、記録されません。

充電式リチウムイオン電池の上手な使いかた

充電式リチウムイオン電池は、室温（10℃〜30℃）で充電してください。温度が低い（10℃以下）ところで充電すると、充分な充電（フル充電）ができないため、使用時間が短くなります。
寒冷地では、電池の使用時間が短くなります。これは、温度が低い（10℃以下）と、電池の性能が低下するためです。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません。

万一、カメラなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

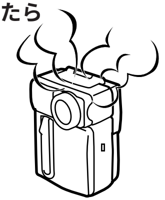
1年に1度は、ACパワーアダプターや充電器のプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラ本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



→

❶ 電源を切る
❷ バッテリーをはずすか、ACパワーアダプターをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電　指挟み

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く　強制

目次

次のページに続く➔

目次(つづき)

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

運転中に使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら撮影／再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内に置くときは急ブレーキなどで本体が落下してブレーキ操作の妨げにならないように十分にご注意ください。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

禁止



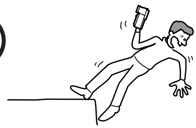
禁止



撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

禁止



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。特にストロボや液晶画面付きの機種では高電圧回路が内蔵されており危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止



飛行機の機内では使わない

本機の発する電磁波が運行の安全に支障をきたす恐れがあります。

強制

病院などで使用を禁止された区域では、本機の電源を切る

本機の発する電磁波が、医療機器に影響を及ぼす場合があります。
医療機器の近くで本機をご使用になる場合は、必ず使用許可を得てください。

強制

⚠警告

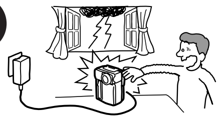
火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

雷が鳴りだしたら、使用しない

遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにご使用を中止してください。
屋外で使用時は、安全な場所へ避難してください。

強制



持ち運びのときに振り回さない

ショルダーベルトやハンドストラップに手を通したまま本体を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりして故障やけがの原因となります。持ち運ぶときは、手でおさえるか、ポケットに入れるなど固定してください。

禁止

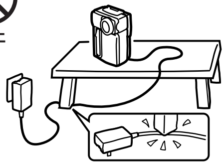


電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止



可燃性／爆発性ガスのある場所でストロボを使用しない

可燃性ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれがある場所では使用しないでください。引火、爆発の原因になります。

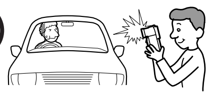
火気禁止



自動車内の運転者に向けてストロボを使用しない

運転者に向けてストロボを使用すると目がくらみ、運転不可能になり、事故を起こす原因になりますので、使用しないでください。

禁止



ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

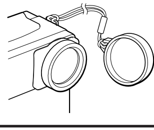
火災や爆発の原因となります。

禁止

レンズキャップは本体とひもでつなぐ

お子さまが誤ってレンズキャップを飲み込まないよう、レンズキャップを本体とひもでつないでください。

強制



⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

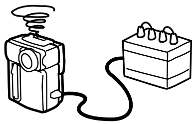


指定以外の充電器やACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



強制

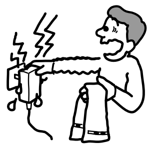


ぬれた手でACパワーアダプターや充電器をさわらない

感電の原因となることがあります。

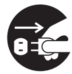


禁止



長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードやバッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



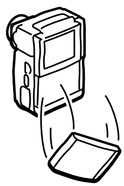
プラグをコンセントから抜く

バッテリーやショルダーベルトは正しく取り付ける

正しく取り付けないと落下によりけがの原因となることがあります。また、ショルダーベルトに傷などがないか使用前に確認してください。万一、傷などがある場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて交換をご依頼ください。



禁止

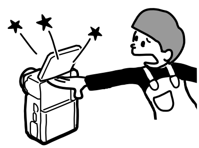


幼児の手の届かない場所に置く

駆動部に手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



指挟み



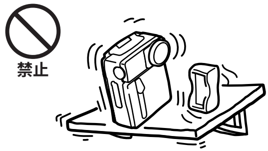
つづき

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

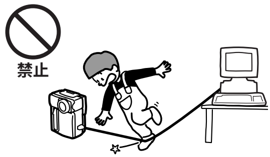
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。万一破損した場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



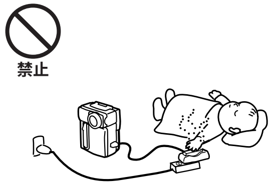
コード類は正しく配置する

電源コード、AVケーブルやRS-232Cケーブルは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。



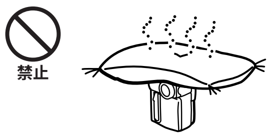
通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



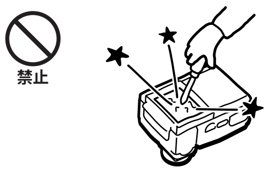
本体やACパワーアダプター、充電器を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



レンズや液晶画面に衝撃を与えない

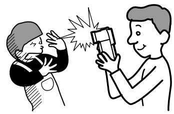
レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



ストロボを至近距離で人に向けない

ストロボを人の目の前（特に乳幼児）に近づけて使用しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときには1m以上離れてください。

禁止



大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MDのような雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

本機と磁気カードを一緒に携帯、保管しない

バッグなどの中で、本機のスピーカーの近くに磁気カードを置いたまま音声を再生すると、磁気カードのデータが消えたり、磁気カードが使えなくなることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド
(Ni-Cd)
ニッケル水素
(Ni-MH)
リチウムイオン
(Li-ion)
鉛
(Pb)

乾電池
アルカリ
マンガン

ボタン型リチウム電池
リチウム

⚠危険 （この項目はバッテリーパックのみに適用となります）

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。指定された充電器で充電しても充電されない場合、電池の故障または寿命切れですので、新しい電池を購入してください。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- バッテリーパックは、火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

⚠警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。
  万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池や乾電池パックは充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

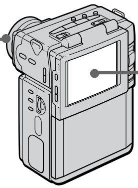
お願い

使用済みニカド電池、リチウム電池、ボタン型リチウム電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

こんなことができます

デジタルスチルカメラDSC-MD1では、高品位の画像と音声を**MDデータディスク**に保存し、液晶画面を使って多彩な機能で画像を再生できます。内蔵の赤外線データ通信機能を使い、他の機器とコードレスでのデータの送受信が行えます。また、音楽用ミニディスクで音楽の録音再生ができます。

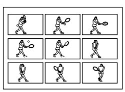
撮る•見る



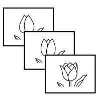
撮影できます

MDデータディスク1枚に最大で2,000枚を記録できます。手軽なオートフォーカス撮影から連写まで、用途に合わせた撮影モードが選べます。

- オートフォーカス撮影 ☞16ページ
- ズーム･セルフタイマー撮影 ☞24、32ページ
- シャッター速度やアイリスなどを調整するマニュアル撮影 ☞34ページ
- 早い動きを一画面で確認できるマルチ画面連写撮影 ☞31ページ



- 植物の成長記録などを最長24時間間隔で連写するインターバル撮影 ☞31ページ



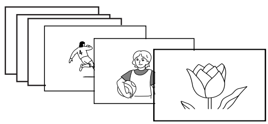
撮影と同時に録音ができます

画像にナレーションを付けて録音ができます。☞33ページ

再生できます

撮影した画像は、見やすい液晶画面で、アルバムを開くように簡単に再生できます。

- インデックス再生や撮影日付検索などの多彩な画像検索機能☞42、43ページ
- 拡大･回転再生☞46、47ページ
- BGMを付けて画像を次々に再生するスライドショー再生。プレゼンテーションに威力を発揮します。☞45ページ



画像、音声の編集ができます

アルバムを整理するように画像をコピー、移動、削除したり、しおりをつけて分類することができます。
また、ナレーションのアフレコやタイトルを付けたり、多彩な編集機能が使えます。☞49~63ページ

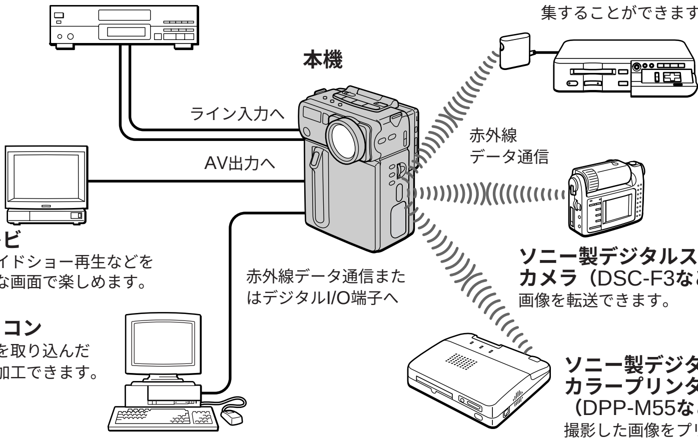
音楽用ミニディスクを入れれば、MDレコーダーに早変わり

CDからの録音、リピート再生、タイトル入力など、MDレコーダーならではの機能も充実しています。
☞87~94ページ

次のページに続く➔

こんなことができます（つづき）

他の機器と組み合わせて使えます

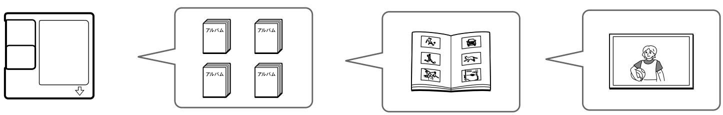


画像と音声の記録について

撮影した画像と音声はMDデータディスクに記録されます。画像と音声の記録には次のいずれかのアルバムモードを選べます。☞71ページ

- •ダイアリーモード：　画像は365枚、音声は約40分間記録できます。
- •フリーモード：　画像と音声の割り当てを自由に行うことができます。画像だけなら最大2,000枚記録できます。

画像はPictureMDフォーマットで、次のように、アルバム単位で保存され、アルバムを開くように、画像を表示することができます。

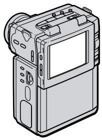


MDデータディスク　　MDデータディスク内には複数のアルバムが保存される　　アルバムには、複数の画像が含まれる　　画像

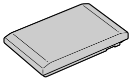
付属品を確認する

次の付属品がそろっていることを確認してください。もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

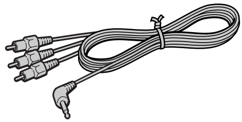
- 本体



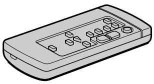
- バッテリー端子カバー（1）



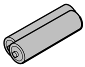
- AV接続ケーブル（1）



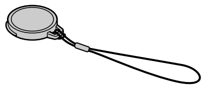
- ワイヤレスリモコン（1）



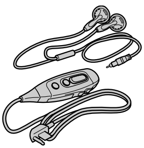
- 単3形乾電池（2）



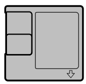
- レンズキャップ（1）



- リモコン付きヘッドホン（1）



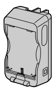
- MDデータディスク（1）
（ピクチャーMDフォーマット済です。）



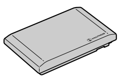
- クリーニングクロス（1）
- 取扱説明書（1)
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットACC KIT-MD1が必要です。

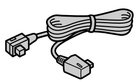
- ACパワーアダプター/チャージャー AC-V100（1）



- バッテリーパック NP-F100（1）



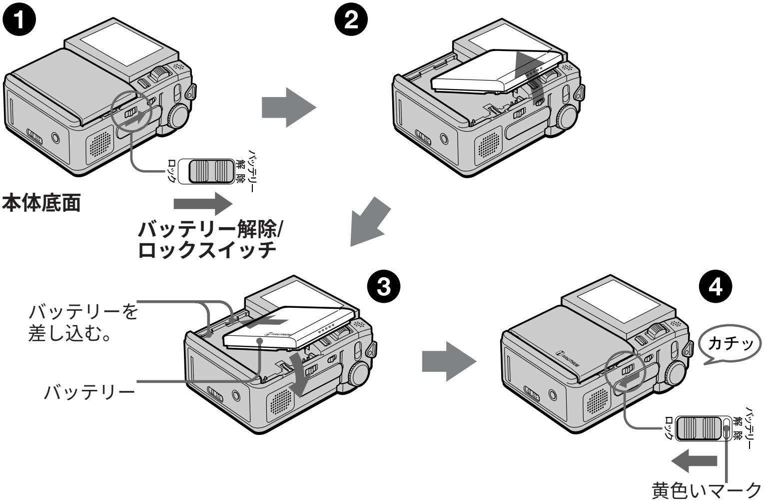
- 接続コード DK-715（1）



- 遮光フード（1）
- キャリングベルト（1)
- キャリングケース（1）

1 バッテリーを充電する

別売りのアクセサリーキットACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプター／チャージャーAC-V100、バッテリーパックNP-F100、接続コードDK-715を使います。



❶ **本体側面のバッテリー解除／ロックスイッチを「解除」にする。**

❷ **バッテリー端子カバーを取りはずす。**

❸ **バッテリーを取り付ける。**

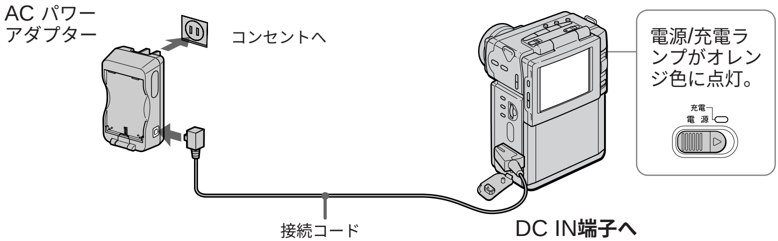
❹ **バッテリー解除／ロックスイッチを「ロック」にする。**

黄色いマークが出ます。

ご注意
バッテリーを取り付けたときはバッテリー解除／ロックスイッチを必ず「ロック」にしてお使いください。「解除」のまま使うとバッテリーが落下することがあります。

長時間電源を入れたままにしておくと
本体があたたかくなりますが故障ではありません。

バッテリーは
撮影予定時間の2～3倍用意していただくと安心です。



❺ AC**パワーアダプターのプラグを起こし、コンセントにつなぐ。**

❻ **接続コードを**AC**パワーアダプターと、本体の**DC IN**端子につなぐ。**

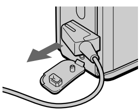
充電が始まると、電源/充電ランプがオレンジ色に点灯します。

充電が終わると電源/充電ランプが消え、ビープ音が聞こえ、液晶画面に「実用充電終了しました」と表示されます（**実用充電**）。さらに約1時間充電すると若干長く使えます（**満充電**）。

バッテリーを取り外すには

1 電源を切ります。
2 手順❶❷を行います。

接続コードを取りはずすには



接続プラグを持って抜きます。

InfoLITHIUM*（インフォリチウム）バッテリーとは

“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー対応です。“インフォリチウム”バッテリーには、InfoLITHIUMマークがついています。

* InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

充電時間について

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-F100	約150分（約90分）
NP-F200	約210分（約150分）

使い切ったバッテリーを本体内で充電したときの時間です。

バッテリーの残量表示

撮影中または再生中、画面表示ボタンを押すと、液晶画面にバッテリー残量が表示されます。



フル充電状態

点滅（「バッテリーを交換して下さい」というメッセージが表示されます。）

なお、あと何分連続撮影で使えるかを表示しますが、使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

次のページに続く➔

画像データの破壊を防ぐために

撮影や再生の操作中にバッテリーやACパワーアダプターを抜き差しすると、画像データが破壊されることがあります。必ず電源スイッチを切り、電源/充電ランプが消えてからバッテリーやACパワーアダプターを抜き差ししてください。

パワーセーブ／オートパワーオフ機能

パワーセーブ機能を「ON」に設定した場合（73ページ）、撮影時、約30秒操作をしないと自動的に液晶画面が消えて（**パワーセーブ**）、さらに約3分で自動的に電源が切れます（**オートパワーオフ**）。パワーセーブ中にシャッターボタンを軽く押すと液晶画面はすぐに点灯します。

パワーセーブ機能が「OFF」の場合も、撮影時は3分、再生時は5分操作をしないと自動的に電源が切れます。

電源が切れた時は電源スイッチを入れると復帰します。

ACパワーアダプターをつないでいるときは、パワーセーブ/オートパワーオフ機能は働きません。

コンセントにつないで使う

室内での長時間の撮影や再生には、屋内のコンセントにつないだままお使いになることをおすすめします。詳しくは、「電源について」（101ページ）をご覧ください。

バッテリーの連続使用時間は

バッテリー	連続撮影時
NP-F100	約60 (50) 分
NP-F200	約110 (95) 分

バッテリー	再生時（本体液晶画面で再生）
NP-F100	約85 (75) 分
NP-F200	約155 (140) 分

いずれも満充電時（実用充電時）

ご注意

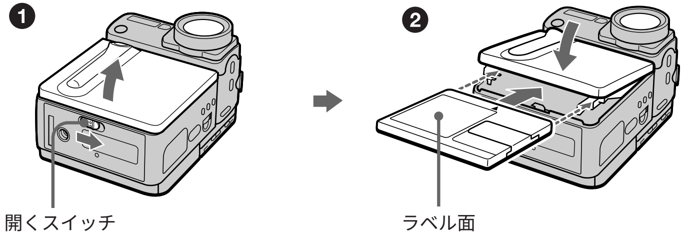
- 20度で一般的な撮影操作を連続して行った場合の時間の目安。
- 電源入/切、ズームなどをくり返したときの撮影時間はこれよりも短くなることがあります。

ご注意

- バッテリーで撮影する場合には、バッテリーの消耗による失敗を防ぐため、充分に充電したバッテリーをお使いください。
- 周囲の温度やバッテリーの状態によっては、充電時間や持続時間が異なる場合があります。
- 充電中に電源を入れると、充電は中断されます。電源を切ると再び充電が始まります。
- バッテリー残量を確認するときは、電源を入れた後、約10秒以上経過してバッテリーの状態が安定してから画面表示ボタンを押してください。

2 MDデータディスクを入れる

「MD DATA」のマークのついたMDデータディスクを入れます。



❶ **開くスイッチを右にずらし、手でふたを開ける。**

❷ **ディスクのラベル面を上にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

新しいMDデータディスクを使うときは

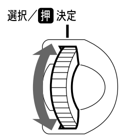
新しいMDデータディスクをお使いになるときは、本機のPictureMDファイル形式に初期化（フォーマット）する必要があります。
新しいMDデータディスクを入れると、フォーマット画面が表示されます。

新しいディスクです
フォーマットしてください

	所要時間
クイックフォーマット	:約50秒
フルフォーマット	:約40分
キャンセル	

選択 決定 終了 メニュー

1 選択／決定ジョグダイヤルを回してフォーマットの種類を選ぶ。



❒ **クイックフォーマット**
通常はこちらを選ぶ。約50秒でアルバムを作りフォーマットを行う。

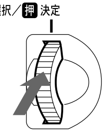
❒ **フルフォーマット**
エラーが発生したMDデータディスクの再フォーマット時のみ選ぶ。検証を行い、約40分でフォーマットを行う。

次のページに続く➔

撮って見る（つづき）

2 選択／決定ジョグダイヤルを押す。

確認画面が出ます。



クイックフォーマットを開始します
所要時間：約50秒

実行
キャンセル

注意
フォーマットすると
ディスク上のデータがすべて消えます

選択　決定　戻る メニュー

3 選択／決定ジョグダイヤルを回して「実行」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

フォーマットが始まります。フォーマットの進行状況インジケーターが表示されます。

途中で中止する

メニューボタンまたは■（停止）ボタンを押します。 フォーマット中止画面が表示されたら、選択／決定ジョグダイヤルで「中止」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押します。中止すると、再びフォーマットするまで使用できません。

ご注意

フォーマットをすると記録した画像はすべて削除されてしまい、修復できなくなります。

ディスクを取り出す

1 電源スイッチを切るか■（停止）ボタンを押す。
2 開くスイッチを右にずらして、手でふたを開ける。
3 ディスクを取り出す。

ご注意

電源が入っているときにディスクを取り出す場合、必ず■（停止）ボタンを押してください。

アルバムモードについて

画像と音声を1枚のMDに記録する方法を「アルバムモード」といいます。本機には「ダイアリーモード」と「フリーモード」の2通りのアルバムモードがありますが、フォーマットはダイアリーモードで行われます。途中で、フリーモードに変更することもできます。詳しくは、「MDデータディスクの記録モードを切り換える（アルバムモード）」（71ページ）をご覧ください。

お使いのディスクにエラーが発生した場合

撮影または再生メニューから、「フォーマット」を選んで同様にフォーマットを行います。（107ページ）

お使いになれるミニディスクは？

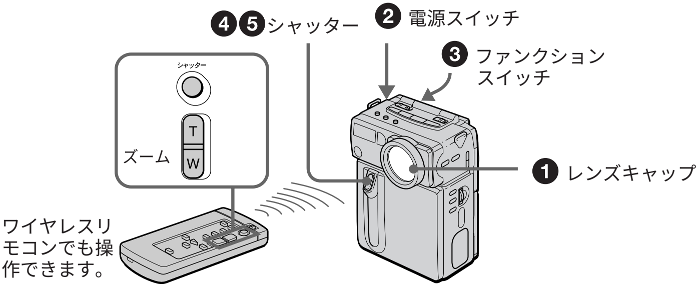
次のマークのついた**記録用MDデータディスク**をお使いになれます。

ご注意

本機での撮影には、音楽用ミニディスクはお使いになれません。

3 撮影する

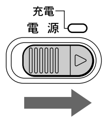
ピント合わせも自動で簡単に撮影できます。



1 レンズキャップをはずす。

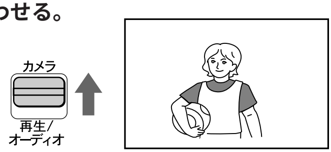
2 電源スイッチを右に押す。

電源が入り、電源/充電ランプが点灯します。



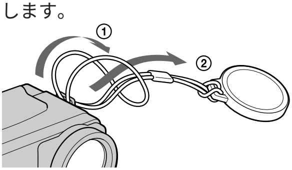
3 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせる。

画面にレンズがとらえた画像が映ります。

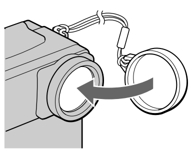


レンズキャップを取り付ける

レンズキャップはなくさないように、付属のひもを利用して、ショルダーベルト取付部などに取り付けておくことをおすすめします。



お使いにならないときは、レンズキャップを取り付けておいてください。

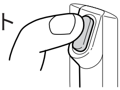


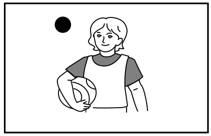
次のページに続く→

撮って見る（つづき）

❹ シャッターを軽く押す。

画面にAFロック表示（●）が出て、ピントが合う距離が固定されます。

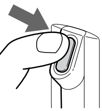


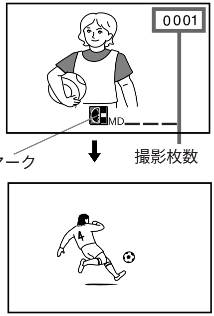


❺ シャッターを下まで押す。

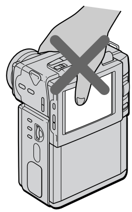
画面に映っている静止画像が撮影され、MDデータディスクに記録されます。

記録には約10秒かかりますが、**静止画を表示中でもシャッターを軽く押すと、レンズがとらえた画像に変わり、続けて4枚まで撮影できます。**





液晶画面を持たないでください！



ご注意

シャッターを押して撮影した後、画像がMDデータディスクに記録されている間、赤いMD記録中マーク（ ）が表示されます。このマークが表示中は、本機に振動や振動を与えないようご注意ください。データが破壊される可能性があります。

撮影が終わったら

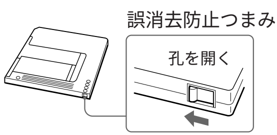
電源スイッチを切る。

アルバムを選ぶ

お好きなアルバムを作成してそこに画像を保存することもできます。（64ページ）

記録内容を間違って消さないために

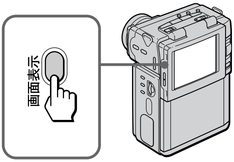
誤消去防止つまみをずらして、孔が開いた状態にします。再び記録するときは、つまみを元に戻します。



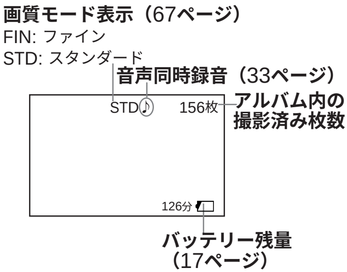
MDデータディスク裏面

撮影中の表示

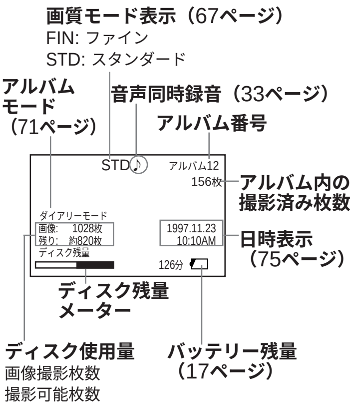
通常のレンズからの画像を表示中、画面表示ボタンを押すと、押す度に簡易表示→詳細表示→表示なしの順に切り替わります。これらの表示は記録されません。



簡易表示

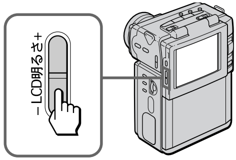


詳細表示

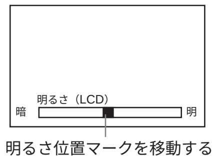


液晶画面の明るさを調節する

側面のLCD明るさ+/–ボタンを押します。

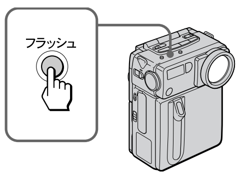


明るさインジケーターが表示されます。LCD明るさ+/–ボタンで調節します。数秒後、インジケーターが消えます。



フラッシュ撮影をする

被者体が暗いときは、自動的にフラッシュ撮影になります。
強制的にフラッシュ撮影を行いたいときまたは行いたくないときは、上面のフラッシュボタンを押します。



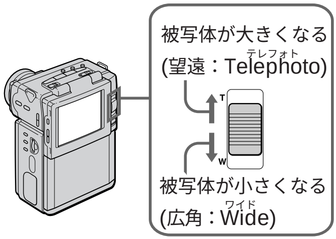
フラッシュボタンを押す度に、オートフラッシュ、強制フラッシュ（⚡）、フラッシュなし（⚡̸）の順に切り替わります。
画面にフラッシュ表示（⚡）が出たら、フラッシュ撮影ができます。

次のページに続く→

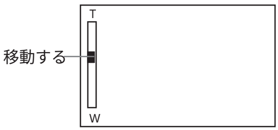
ご注意
- フラッシュの充電中は、フラッシュ表示（⚡）が点滅します。そのときは、フラッシュ撮影ができませんので、点灯するまでお待ちください。
- バッテリー残量が少なくなると、フラッシュは使用できなくなります。（強制フラッシュを選んでも、フラッシュ表示（⚡）が点灯しません。）

ズームする

ズームスイッチを動かします。

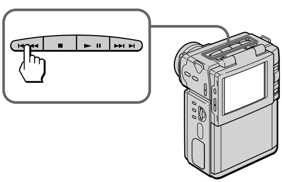


インジケーターが表示されますので、ズームスイッチで調節します。
数秒後、インジケーターが消えます。

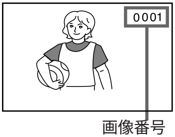


撮影した画像を確かめる（レックレビュー）

今まで撮影した画像を表示できます。レンズからの画像表示時、
⏮ ⏪ ボタンを押します。



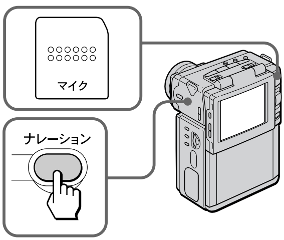
一番最後に撮った画像が表示されます。



⏮ ⏪ボタンを押す度に前に撮った画像が、⏩ ⏭ボタンを押す度に後で撮った画像が順に表示されます。軽くシャッターボタンを押すとレンズがとらえた画像に戻ります。（10秒以上どのボタンも押さないときも、レンズがとらえた画像に戻ります。）

撮影した画像にナレーションを入れる

今撮影した画像にすぐにナレーションを入れることができます。
ナレーションボタンを押します。



最後に撮影した画像が再生されます。ナレーションボタンを押したままマイクにむかってナレーションを吹き込みます。詳しくは、「撮影した画像に音声を記録する（アフレコ）」（54ページ）をご覧ください。

うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、デジタルスチルカメラを動かしすぎないことです。ふらつかないよう、安定した姿勢で撮影しましょう。

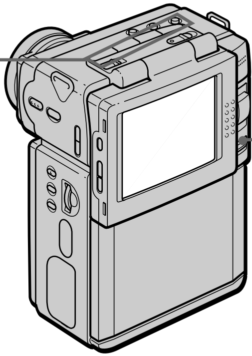


低い位置で撮る姿勢（ローアングル）



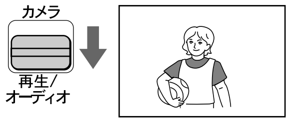
次のページに続く➔

4 再生する



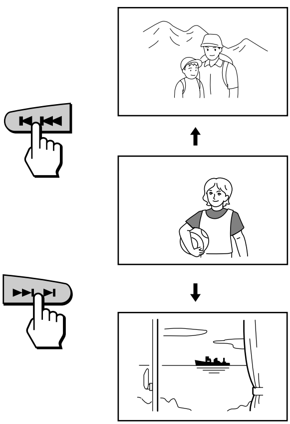
❶ ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」に合わせる。

最後に撮影された静止画像が映ります*。



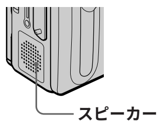
❷ I◀ I◀◀、▶▶I ▶Iボタンで画像を切り換える。

I◀ I◀◀ボタンを押す度に前に撮った画像が、▶▶I ▶Iボタンを押す度に後で撮った画像が順に表示されます**。

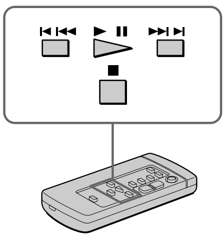


* ファンクションスイッチが「再生/オーディオ」の位置で、電源を切って再度入れたときは、最後に表示していた画像が表示されます。
また、アルバムを選んで再生することもできます。（64ページ）

** 音声が記録されている画像では、音声もスピーカーから再生されます。



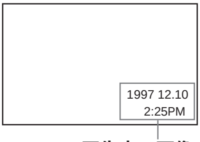
ワイヤレスリモコンでも操作できます。



再生中の表示

通常の1画面再生中、画面表示ボタンを押すと、押す度に日時表示→詳細表示→タイトル表示→表示なしの順に切り換わります。

日時表示

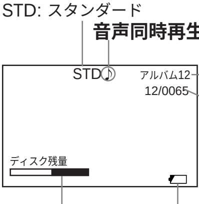


再生中の画像の撮影日時（75ページ）

詳細表示

画質モード表示（67ページ）
FIN: ファイン
STD: スタンダード

音声同時再生（48ページ）



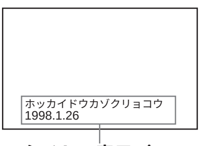
アルバム番号

アルバム内画像番号
再生番号／アルバム内記録画像総数

ディスク残量メーター

バッテリー残量（17ページ）

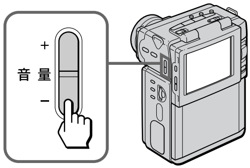
タイトル表示



タイトル表示（55ページ）

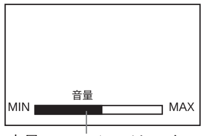
音量を調節する

音量+/－ボタンを押します。



音量+ボタン	音量を大きくする
音量－ボタン	音量を小さくする

音量レベルインジケーターが表示されます。インジケーターを見ながら、調節します。インジケーターは、数秒後に消えます。



音量レベルインジケーター

再生中の画像にナレーションを記録する（アフレコ）

ナレーションボタンを押したままマイクにむかってナレーションを吹き込みます。詳しくは、「撮影した画像に音声を記録する（アフレコ）」（54ページ）をご覧ください。

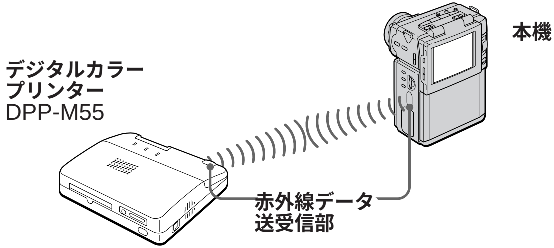
次のページに続く→

赤外線通信を行う

本機と次の機器との間で赤外線通信で画像データのやりとりができます。

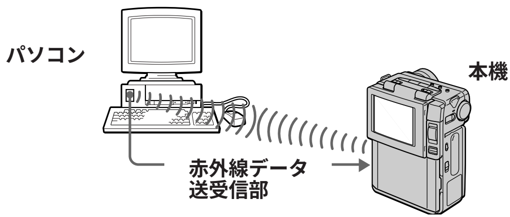
1 IrDA**対応プリンター（ソニーデジタルカラープリンター**DPP-M55**など）**☞78**ページ**

本機で撮影した画像をプリンターに送り、プリントします。



2 IrDA**対応のパソコン**(IBM PC/AT**およびその互換機、一部の**NEC PC-98**シリーズ）**☞81**ページ**

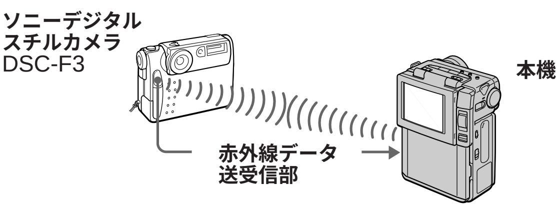
本機で撮影した画像をパソコンに転送、保存、加工したり、画像データのやりとりができます。



3 **赤外線データ通信システム対応機器（ソニーデジタルスチルカメラ**DSC-F3**など）**

☞85**ページ**

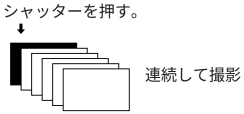
画像データのやりとりができます。

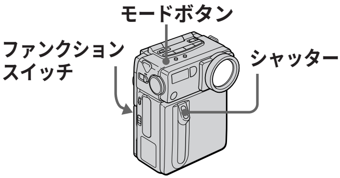


連続して撮る（連写）

1度シャッターを押すと、その時点から連写撮影ができます。連写枚数と間隔はメニューで設定できます。

いつ使う？ スポーツなど、一連の速い動きを撮影するときなど。





1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせる。

2 画面に「 」が表示されるまで、モードボタンを押す。

3 シャッターを下まで押して撮影する。

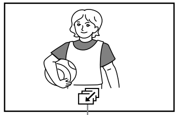
撮影メニューの「連写設定」（65ページ）で設定した枚数と間隔で、シャッターを押した時点から連続して撮影します。

ご注意

- 連写撮影中は次の操作はできません。
  - –フラッシュ撮影
  - –シャッターを軽く押すAFロック撮影
  - –音声同時記録
- 撮影可能枚数が、連写枚数に満たない場合は、連写モードを選択しようとすると、「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示されます。

連写モードを切り換える

モードボタンを押す度に撮影モードが次の順に切り換わり、画面にマークが表示されます。



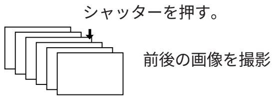
現在選ばれている撮影モードのマーク

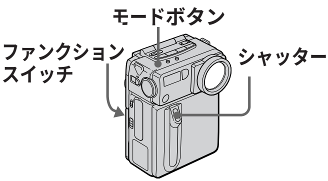
- ❒ **連写**（ ）: 1回シャッターを押すと､その後の画像を連続して撮影する。
- ❒ **タイムマシン**（ ）: 1回シャッターを押すと､前後の画像を連続して撮影する。（30ページ）
- ❒ **マルチ画面連写**（ ）: 1回シャッターを押すと､9枚の画像を1画面に連続して撮影する。（31ページ）
- ❒ **インターバル撮影**（ ）: 1回シャッターを押すと､2枚から1000枚までの画像を20秒から24時間間隔で連続して撮影する。（31ページ）
- ❒ **1枚撮影**（マーク表示なし）: 1回シャッターを押すと､1枚撮影する。（通常撮影）

シャッターを押す前後を連続して撮る（タイムマシン）

常に画像を取り込むことにより、シャッターを押した時点の前後の画像を連続して撮影できます。連写間隔はメニューで設定できます。

いつ使う? 1番良いシャッターチャンスの画像を選ぶときなど。





1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせる。

2 画面に「 」が表示されるまで、モードボタンを押す。

3 シャッターを軽く押す。
画像が取り込まれていきます。画面の画像も同じ間隔で切り換わります。（シャッターを離すと画像の取り込みも解除されます。）

4 シャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。
撮影メニューの「連写設定」（65ページ）で設定した枚数と間隔で、シャッターを押した前後の画像を連続して撮影します。ただし、ファインモードでは、設定した枚数よりも少ない枚数が撮影されます。たとえば連写設定が10枚の場合は、画質モードによって撮影される枚数は次のとおりです。

画質モード	前	後
スタンダードモード	5枚	5枚
ファインモード	3枚	2枚

通常の撮影モードに戻す

モードボタンを押して、連写マークを消します。

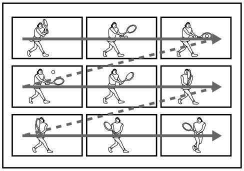
ご注意

- タイムマシン撮影中は次の操作はできません。
  –フラッシュ撮影
  –シャッターを軽く押すAFロック撮影
  –音声同時記録
- 撮影可能枚数が、連写枚数に満たない場合は、タイムマシンを選択しようとすると、「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示されます。
- シャッターを軽く押してから、0.5〜1秒以内にシャッターを下まで押して撮影すると、シャッターを押す前の写真は1枚または2枚しか撮影されません。

9枚の画像を1画面に撮る（マルチ画面連写）

シャッターを押したときから1/15秒間隔で連続して9枚の画像を1画面に納めて撮影できます。

いつ使う? 速い動きを1画面で見たいときなど。



1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせる。

2 画面に「 」が表示されるまで、モードボタンを押す。

3 シャッターを軽く押してから、シャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。

シャッターを押したときから連続して1/15秒間隔で9枚の画像を(上の矢印の順序で)1画面に納めて撮影します。

通常の撮影モードに戻す

モードボタンを押して、連写マークを消します。

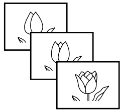
ご注意

- マルチ画面連写中は、フラッシュ撮影はできません。
- 撮影枚数と間隔の設定はできません。

インターバル撮影をする

あらかじめ撮影する枚数と間隔を設定しておくと、シャッターを押したときから自動的に設定した間隔で連続して撮影を行います。

いつ使う? 植物の成長記録や日の出などを記録するときなど。



連続して撮影

1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせる。

2 画面に「 」が表示されるまで、モードボタンを押す。

3 シャッター下までゆっくり押しきって撮影する。

シャッターを押したときから撮影メニューの「インターバル撮影」（66ページ）で設定した間隔と枚数で連続撮影を行います。インターバル撮影中は電源/充電ランプがゆっくり点滅します。

撮影間隔が1分以上のときは、次の撮影までの間は自動的にパワーオフになり、液晶画面が消えます。

インターバル撮影を中止するには

電源スイッチを切ります。

通常の撮影モードに戻す

モードボタンを押して、連写マークを消します。

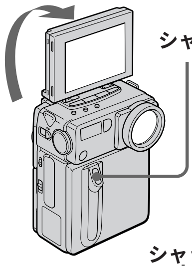
ご注意

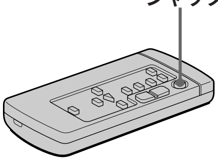
インターバル撮影中は、フラッシュ撮影はできません。

液晶画面を回転させて撮る（対面撮影）

液晶画面を180度回転させ、液晶画面と向き合って撮影できます。ワイヤレスリモコンを使うと便利です。

いつ使う? 自分を撮ったりするときや、相手に自分が撮られている映像を見せながら撮影したいときなど。



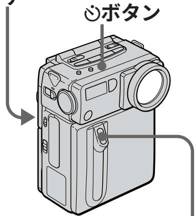


液晶画面を回転させると、対面撮影マーク（☺）が表示されます。対面撮影時、液晶画面に映る画像は鏡のように映りますが、正常に撮影されます。

ご注意
対面撮影中は液晶画面にメニューは表示されません。

セルフタイマー撮影をする

シャッターを押してから、10秒後に自動撮影できます。

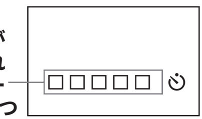


1 **ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせる。**

2 **⏲ボタンを押す。**
画面に「⏲」が表示されます。

3 **シャッターを軽く押す。**

4 **シャッターを下まで押す。**
10秒後に自動的に撮影されます。

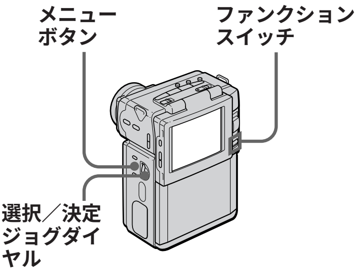


解除するには
⏲ボタンを押します。

音声を同時に録音する

撮影時に、1画像につき約6秒間の音声を同時に録音することができます。

いつ使う? 撮影時の様子を音声でも残しておきたいときなど。



1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。

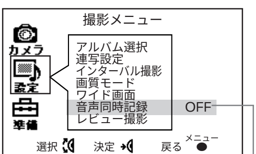
撮影メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

設定メニューにカーソルが移動します。

3 「音声同時記録」にカーソルを合わせる。

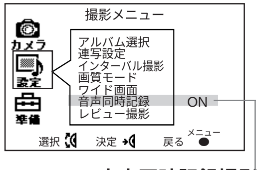
現在の設定値が表示されます。



音声同時記録撮影OFF

4 選択／決定ジョグダイヤルを押して、「ON」を表示させる。

押す度に設定が切り換わります。



音声同時記録撮影ON

5 メニューボタンを2度押す。

音声同時記録モードに設定され、撮影メニューが消えます。

6 シャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。

画像が記録され､続いて音声が記録されます。



音声同時再生するには

再生メニューの「音声同時再生」を「ON」に設定します。詳しくは、「音声を同時に再生する」（48ページ）をご覧ください。

途中で操作を中止するには

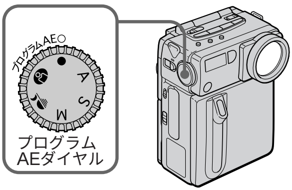
メニューボタンを押します。

ご注意（内蔵マイクの使用について）

内蔵マイクでの録音では、シャッターボタンなどの操作音、MDの動作音が記録されてしまうことがあります。これらの音が気になるときは、外部マイク（別売り）のご使用をおすすめします。

目的に合わせて撮る（プログラムAE）

被写体や撮影状況に適した調節を自動的に行うことができます。



1 **ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせる。**

2 **プログラムAEダイヤルを回して、撮影状況に合わせたモードに合わせる。**

❒ **•（標準モード）**
明るさ、シャッター速度、アイリス（絞り）を自動調整して撮影します。

❒ A**（アイリス優先）**
アイリスの設定値を優先して、明るさ、シャッター速度を調整して撮影します。現在設定されている絞り値が左上に表示されます。

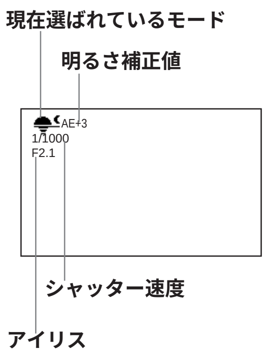
❒ S**（シャッター速度優先）**
シャッター速度の設定値を優先して、明るさ、アイリス（しぼり）を調整して撮影します。 現在設定されているシャッター速度が左上に表示されます。

❒ M**（マニュアル）**
設定された明るさ、シャッター速度、アイリス（しぼり）で撮影します。現在設定されている絞りとシャッター速度が左上に表示されます。

❒ **(サンセット&ムーンモード)**
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに再現できるように撮影します。

❒ **(スポットライトモード)**
舞台や結婚式など、強い光があたっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

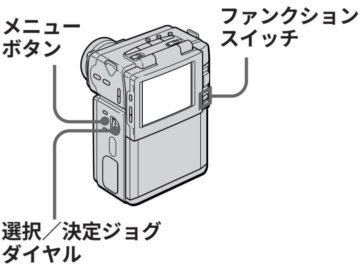
撮影時の画面表示
現在のプログラムAEの設定と、「•」(標準モード)以外を選んでいるときは、設定値が表示されます。



明るさを補正する

プログラムAEダイヤルで「•」(標準モード)および「M(マニュアル)」以外を選んでいるときは、撮影状態に合わせて、被写体の明るさを補正して撮影することができます。

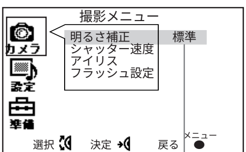
いつ使う? 被写体の明るさが背景と極端に違うとき。



1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。
撮影メニューが出ます。

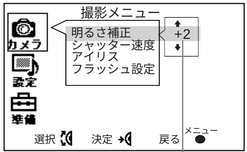
2 「カメラ」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
カーソルがカメラメニューに移動します。

3 「明るさ補正」にカーソルを合わせる。
現在の設定値が表示されます。



現在設定されている明るさ

4 選択／決定ジョグダイヤルを押して、明るさ補正設定画面を表示し、選択／決定ジョグダイヤルを回して明るさを調節する。
-3から+3までの7段階に調節できます。背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。



新しく設定された明るさ

5 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだ明るさに設定されます。

6 メニューボタンを2度押す。
撮影メニューが消えます。

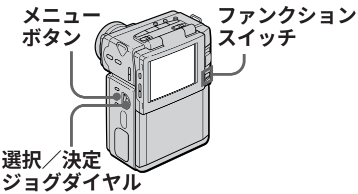
オート撮影モードに戻す
プログラムAEダイヤルを「•」(標準モード)に合わせます。明るさ補正は無効になります。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

シャッター速度を選ぶ

プログラムAEダイヤルで「S（シャッター速度優先」または「M（マニュアル）」を選んでいるときは、シャッター速度を固定して撮影することができます。

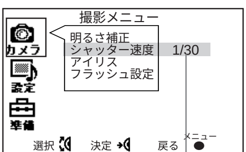
いつ使う?　背景の明るさや蛍光灯などの光源、被写体の動きの速さなどに適した撮影をしたいとき。



1　ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。
撮影メニューが出ます。

2　「カメラ」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューにカーソルが移動します。

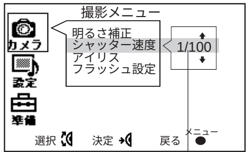
3　「シャッター速度」にカーソルを合わせる。
現在の設定値が表示されます。



現在設定されているシャッター速度

4　選択／決定ジョグダイヤルを押して、シャッター速度設定画面を表示し、選択／決定ジョグダイヤルを回してシャッター速度を選ぶ。

1/4～ 1/15	夕暮れや夜景など、暗い背景で撮影するとき
1/30	室内で撮影するとき
1/100	蛍光灯などちらつきのある照明で撮影するとき
1/250～ 1/4000	スポーツなどの動きの速いものを撮影するとき



新しく設定したシャッター速度

5　選択/決定ジョグダイヤルを押す。
選んだシャッター速度に設定されます。

6　メニューボタンを2度押す。
撮影メニューが消えます。

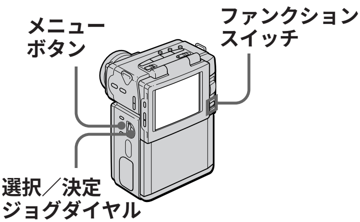
ご注意
- シャッター速度を固定すると、その速度に適さない被写体の明るさでは画質が劣化する場合があります。
- 速いシャッター速度で非常に明るい被写体を撮影した場合、画像の上下にすじが出ることがありますが、故障ではありません。
- シャッター速度を1/15以下または1/2000以上に設定したときは、フラッシュ撮影はできません。フラッシュ撮影をするときは、他のシャッター速度を選んでください。

オート撮影モードに戻す
プログラムAEダイヤルを「•」(標準モード)に合わせます。シャッター速度の設定は無効になります。

手動で絞り（アイリス）を選ぶ

プログラムAEダイヤルで「A（アイリス優先」または「M（マニュアル）」を選んでいるときは、絞りを固定して撮影することができます。

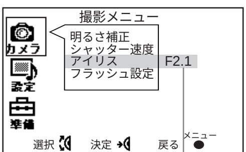
いつ使う? 自動での調整がむずかしいときなど。



1 **ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。**
撮影メニューが出ます。

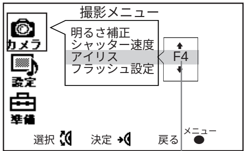
2 **「カメラ」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。**
カメラメニューにカーソルが移動します。

3 **「アイリス」にカーソルを合わせる。**
現在の設定値が表示されます。



現在設定されているアイリス

4 **選択／決定ジョグダイヤルを押して、アイリス設定画面を表示し、選択／決定ジョグダイヤルを回してアイリスを選ぶ。**
F2.1、F2.8、F4、F5.6、F8、F11、F16から選びます。



新しく設定したアイリス

5 **選択／決定ジョグダイヤルを押す。**
選んだアイリスに設定されます。

6 **メニューボタンを2度押す。**
撮影メニューが消えます。

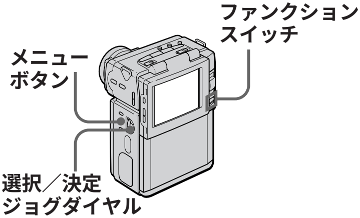
オート撮影モードに戻す
プログラムAEダイヤルを「•」(標準モード)に合わせます。アイリスの設定は無効になります。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

フラッシュの明るさを調節する

プログラムAEダイヤルで「•」(標準モード)以外を選んでいるときは、撮影状態に合わせて、フラッシュの明るさを調節できます。

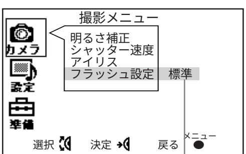
いつ使う? フラッシュ撮影時に被写体の配置によって、希望の明るさにならないときなど。



1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。
撮影メニューが出ます。

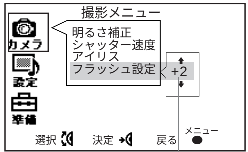
2 「カメラ」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューにカーソルが移動します。

3 「フラッシュ設定」にカーソルを合わせる。
現在の設定値が表示されます。



現在設定されている明るさ

4 選択／決定ジョグダイヤルを押して、フラッシ設定画面を表示し、選択／決定ジョグダイヤルを回してフラッシの明るさを選ぶ。
-3から+3までの7段階に調節できます。



新しく設定された明るさ

5 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだ明るさに設定されます。

6 メニューボタンを2度押す。
撮影メニューが消えます。

途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。

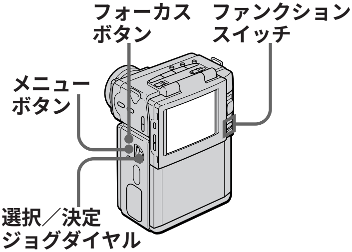
フラッシュ設定のヒント
被写体の色が濃いときや背景が暗いときは、明るめにフラッシュ撮影されることがあります。このような場合には、フラッシュを暗い方向に設定してください。
逆に被写体の色が薄いときや背景が明るいときは、暗めにフラッシュ撮影されることがあります。このような場合には、フラッシュを明るい方向に設定してください。
フラッシュを適切な明るさに設定するためには、試し撮りをして確認することをお勧めします。

オート撮影モードに戻す
プログラムAEダイヤルを「•」（標準モード）に合わせます。フラッシュ設定は、無効になります。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピントをあわせることができます。

いつ使う?　自動でピントが合いにくいときや、ピントを固定したいとき

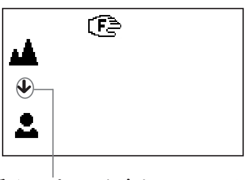


1　ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせて、フォーカスボタンを1回押す。

マニュアルフォーカスマーク（）が表示されます。

2　選択/決定ジョグダイヤルを回してピントを調整する。

インジケーターが表示されます。選択/決定ジョグダイヤルを下に回すと近く（）にピントが合い上に回すと遠く（）にピントが合います。



近くにピントを合わせているときは矢印はを指し、遠くに合わせているときはを指す。

こんなときに使うと効果的です

- 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
- 被写体が横じまだけのもののとき
- 被写体と背景とのコントラストが低いとき

ズームのときにもピントがずれないようにするには

ズームスイッチをT側（望遠）にしてからピントを合わせます。

近づいて大きく撮るとき

ズームスイッチをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

次のようなときには

手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側（広角）で撮ります。

- 暗い室内で撮るとき
- 明るい野外で動きの激しいものを撮るとき

近くのものにピントがうまく合わないときは

ズームスイッチをW側（広角）に動かしてピントを合わせます。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約30cm以上です。

、マークが点滅したら

それ以上近く（）または遠く（）にピントを合わせることはできません。

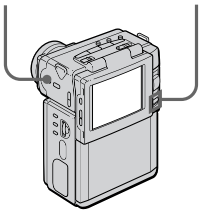
オートフォーカスに戻す

フォーカスボタンを押します。押す度に、マニュアルフォーカス（）とオートフォーカスが切り換わります。

逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさを補正して撮ります。

いつ使う? 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るときや、画面の中に強い光を発するものがあるとき。



1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせる。

2 逆光補正ボタンを押しながらシャッターを押す。
押している間だけ逆光が補正されます。

合成用に複数の画像を撮る（レビュー撮影）

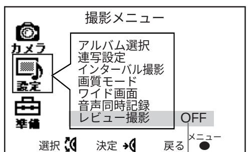
別売のパソコン接続キットDSKIT-PC4を使って、複数の画像を1枚の画像に合成することができます（Windows用のみ）。詳しくは、パソコン接続キットの取扱説明書をご覧ください。

いつ使う? 複数の画像を1枚のパノラマ写真や大きな画像に合成したいとき。

1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。
撮影メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
設定メニューにカーソルが移動します。

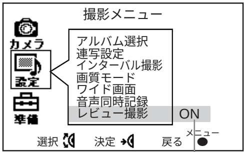
3 「レビュー撮影」にカーソルを合わせる。
現在の設定値が表示されます。



現在のレビュー撮影モード

4 選択／決定ジョグダイヤルを押して「ON」を選ぶ。

押す度に設定が切り換わります。



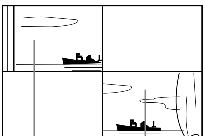
レビュー撮影モードON

5 メニューボタンを2回押す。

レビュー撮影モードが選ばれ、撮影メニューが消えます。

6 1枚に合成したい画像を、シャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。

シャッターを押すたびに画像が記録されていきます。1/4サイズで表示されますが、実際にはフル画面で記録されています。後で1枚の画像に合成するためには、それぞれ1/4程重ねて撮影します。



一番最後に記録した画像

レンズがとらえた画像

レビュー撮影を終了させるには

手順4で「OFF」を選びます。

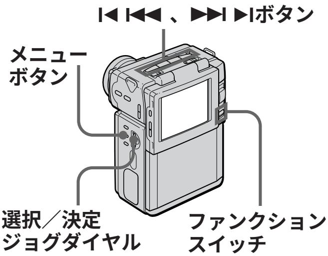
ご注意

- 撮影枚数は画質モードによって異なります。
- 液晶画面を回転させて対面撮影にした時は、レビュー撮影はできません。

一度に複数の画像を再生する（インデックス）

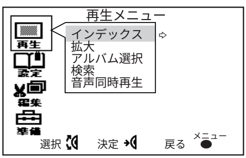
撮影した画像を12枚ずつ一度に再生できます。12枚の中から画像を選び1画面に表示することもできます。

いつ使う？ 画像を検索するときなど。

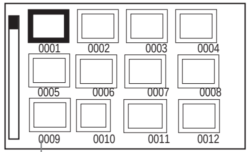


1 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

2 「再生」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューにカーソルが移動します。



3 「インデックス」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
12枚の画像が一度に再生されます（インデックス画面）。



画像番号
プロテクト（⊶）、しおり（ ）指定などのマークが表示される。

選んだ画像を1画面表示にする

① 選択／決定ジョグダイヤルを回して画像を選ぶ。

② 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだ画像が1画面の大きさに拡大され、表示されます。

違う画像を表示する

I◀ I◀◀ 、▶▶I ▶Iボタンで画像を送ります。

I◀ I◀◀ ボタン	小さい番号の画像を表示*
▶▶I ▶Iボタン	大きい番号の画像を表示*

* インデックス画面のときは、12枚単位で送られます。

インデックス画面に戻す

メニューボタンを押します。

途中でメニュー操作を中止するには

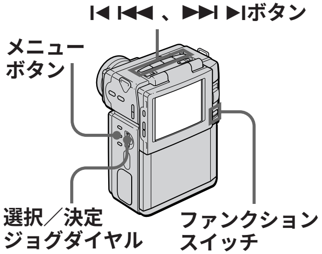
メニューボタンを押します。

通常の再生に戻す

メニューボタンを2回押します。再生メニューが消え、通常の再生画面に戻ります。

画像を検索して再生する

撮影した日付、しおり、プロテクト指定で、画像を検索できます。

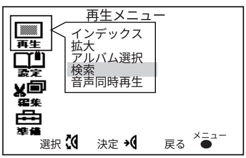


1 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。

再生メニューが出ます。

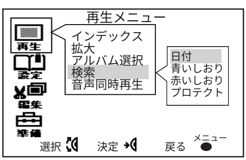
2 「再生」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

再生メニューにカーソルが移動します。



3 「検索」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

検索条件選択画面が出ます。



4 選択／決定ジョグダイヤルを回して、検索条件を選ぶ。

❒ **日付**
撮影日付別に画像を一覧表示し、検索する。

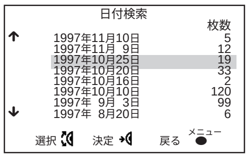
❒ **青いしおり／赤いしおり**
しおりのついた画像を一覧表示し、検索する。

❒ **プロテクト**
プロテクト指定のされた画像を一覧表示し、検索する。

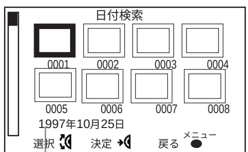
5 選択／決定ジョグダイヤルを押す。

日付を選んだ場合は

次の日付検索画面が表示されます。選択／決定ジョグダイヤルを回して、撮影日付を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押します。



選んだ条件の画像が一覧画面されます。



選んでいる画像の日付が表示される。

次のページに続く→

選んだ画像を1画面表示にする

① 選択／決定ジョグダイヤルを回して画像を選ぶ。

② 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだ画像が1画面の大きさに拡大され、表示されます。

違う画像を表示する

⏮ ⏪ 、⏩ ⏭ボタンで画像を送ります。

⏮ ⏪ ボタン	小さい番号の画像を表示*
⏩ ⏭ボタン	大きい番号の画像を表示*

* 一覧画面のときは、8枚単位で送られます。

一覧画面に戻す

メニューボタンを押します。

途中でメニュー操作を中止するには

メニューボタンを押します。

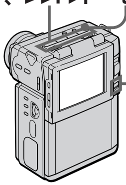
通常の再生に戻す

メニューボタンを2回押します。再生メニューが消え、通常の再生画面に戻ります。

選んだ画像を順番に自動再生する（スライドショー）

アルバムの全画像を次々に自動再生できます（スライドショー）。リピート再生をしたり、BGMなどを付けて再生することもできます。

いつ使う? プレゼンテーションをするときなど。



1 ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」に合わせる。

2 モードボタンを押して、画面に「スライドショー」を表示する。

3 アルバムの先頭画像から再生を開始するには▶▶I ▶Iボタンを、アルバムの最後の画像から再生を開始するにはI◀ I◀◀ボタンを押します。

スライドショーが終わると、自動的に停止します。

再生を一時停止する

▶ II ボタンを押します。再び▶ II ボタンを押すと、続いて再生を開始します。

再生を途中で終了する

■ボタンを押します。

途中の画像から再生する

▶▶I ▶Iボタンを押し続けると画像が後ろへ、I◀ I◀◀ ボタンを押し続けると画像が前へ送られます。再生を開始したい画像番号が表示されたら、ボタンを離します。表示された画像から再生を開始します。

途中でメニュー操作を中止するには

メニューボタンを押します。

通常の再生に戻す

モードボタンを押して、「スライドショー」表示を消します。または、電源を切っても通常の再生に戻ります。

スライドショーを設定する

画像のコマ送り間隔を変えたり、リピート再生をしたり、スライドショーにナレーションやBGMを選んで再生することができます。詳しくは、「スライドショーを設定する」（69ページ）をご覧ください。

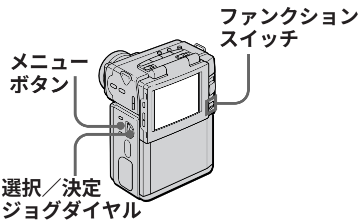
BGMを録音する

スライドショーで使うBGMはあらかじめ録音しておきます。詳しくは、「BGMを録音•消去する」（60ページ）をご覧ください。

画像を回転させて再生する

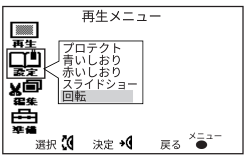
撮影した画像を回転させることができます。

いつ使う? 縦で撮った画像を再生時に横にして見たいときなど。

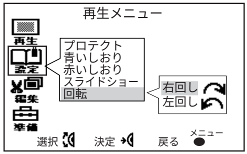


1 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

2 「設定」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
設定メニューにカーソルが移動します。



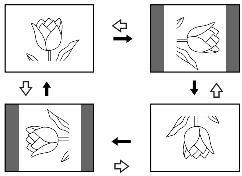
3 「回転」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
回転実行画面が出ます。



4 選択／決定ジョグダイヤルを回して、回転方向を選ぶ。

❐ **右回し**（下図➔方向）
画像を時計方向に90度ずつ回転させます。

❐ **左回し**（下図⇨方向）
画像を反時計方向に90度ずつ回転させます。



5 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
現在表示されている画像が選んだ方向に90度回転します。

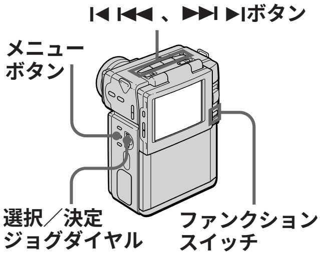
180度、270度回転または元に戻す
手順1から3をくり返します。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

ご注意
プロテクト指定（58ページ）された画像は回転できません。

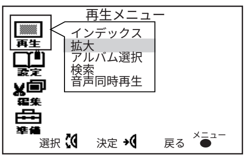
画像を拡大して再生する

撮影した画像の約1/4に当たる部分を4倍に拡大して、画面全体に表示できます。



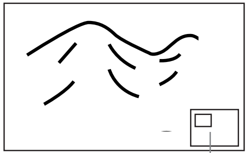
1 ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

2 「再生」にカーソルを合わせ、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューにカーソルが移動します。

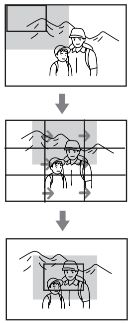


3 「拡大」にカーソルを合わせ、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
現在表示している画像の1/4部分が4倍に拡大され、画面全体に表示されます。
画面の右下に拡大位置を示す枠が表示されます。（表示されていないときは**画面表示ボタン**を押します。）

4 選択／決定ジョグダイヤルを回して拡大部分を選ぶ。



拡大位置枠
外側の枠が画面全体を、中の小さな枠が拡大されている位置を表します。実際には1/4にあたるアミ部分が拡大されています。



選択／決定ジョグダイヤルを回すと、小さな枠が移動します（下方向に回すと矢印方向に、上方向に回すと反対方向に）。

左の図の位置に小さな枠がある場合は、アミ部分が4倍に画面全体に拡大して表示されます。実際には下のように画面に表示されます。



違う画像を表示する
I◀ I◀◀ 、▶▶I ▶Iボタンで画像を送ります。

拡大位置枠を消す
画面表示ボタンを押します。

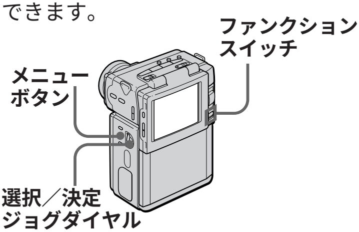
拡大表示をやめる
メニューボタンを押します。

通常の再生に戻す
メニューボタンを2回押します。再生メニューが消え、通常の再生画面に戻ります。

ご注意
拡大再生中は、音声の同時再生は行いません。

音声を同時に再生する

撮影時に記録した音声やアフレコの音声を画像と同時に再生することができます。



1 ファンクションスイッチを「再生/ オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。

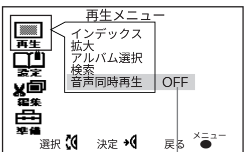
再生メニューが出ます。

2 「再生」にカーソルを合わせ、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

設定メニューにカーソルが移動します。

3 「音声同時再生」にカーソルを合わせる。

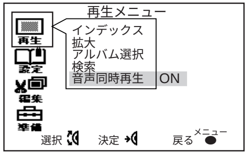
現在の設定値が表示されます。



現在の音声同時再生設定

4 選択／決定ジョグダイヤルを押して、音声同時再生モードを選ぶ。

押す度に設定が切り換わります。



❒ ON

音声同時再生する。

❒ OFF

音声同時再生しない。

5 メニューボタンを2度押す。

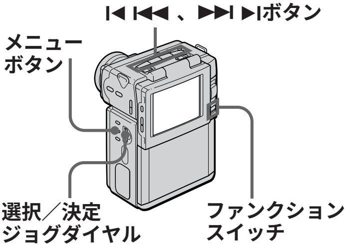
音声同時再生モードに設定され、再生メニューが消えます。

途中で操作を中止するには

メニューボタンを押します。

画像を移動する

アルバム内または他のアルバムへの画像の移動ができます。



ご注意
プロテクト指定（58ページ）された画像は移動できません。

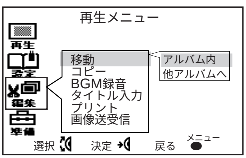
アルバム内で移動する

1画像ずつアルバム内で移動させることができます。

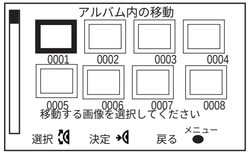
1 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「編集」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
編集メニューにカーソルが移動します。

3 「移動」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
移動実行画面が出ます。

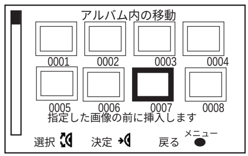


4 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「アルバム内」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
画像選択画面が出ます。

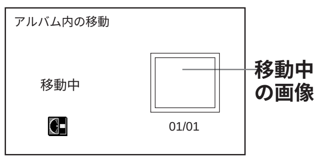


ページを送る
|◀ |◀◀ 、▶▶| ▶|ボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

5 選択／決定ジョグダイヤルを回して移動する画像を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
挿入場所指定画面が出ます。



6 選択／決定ジョグダイヤルを回して、挿入したい場所を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
手順4で選んだ画像が指定した場所の前に挿入されます。音声が記録されている場合は、音声も同時に移動します。



次のページに続く➔

移動が終了すると、手順4の画像選択画面に戻ります。画像が移動していることが確認できます。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

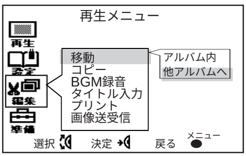
他の画像を移動する
手順4から5をくり返します。

移動を終了して、通常画面に戻る
メニューボタンを3回押します。

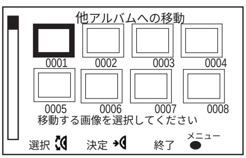
他のアルバムへ移動する

画像を他のアルバムの最後に移動できます。画像は1度に16枚まで移動できます。

1 再生メニューの「編集」から「移動」を選び選択／決定ジョグダイヤルを押す。
移動実行画面が出ます。



2 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「他アルバムへ」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
画像選択画面が出ます。

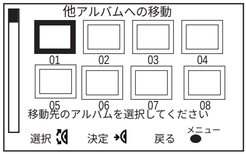


ページを送る
⏮ ⏪、⏩ ⏭ボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

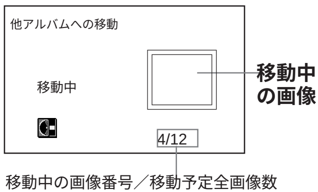
3 選択／決定ジョグダイヤルを回して移動する画像を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
16枚まで選べます。選んだ画像の画像番号がハイライト表示されます。

ご注意
画像を16枚選ぶと、自動的に移動先アルバム画面が表示されます。

4 メニューボタンを押す。
移動先アルバムの選択画面が表示されます。



5 選択／決定ジョグダイヤルを回して、挿入先のアルバムを選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
手順3で選んだ画像が指定したアルバムの最後に挿入されます。音声が記録されている場合は、音声も同時に移動します。



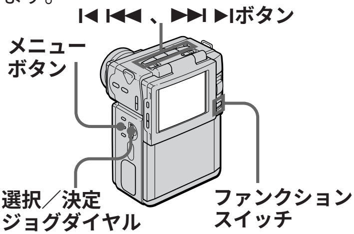
移動が終了すると、手順2の画像選択画面に戻ります。

他の画像を移動する
手順3から5をくり返します。

移動を終了して、通常画面にもどる
メニューボタンを3回押します。

画像をコピーする

アルバム内または他のアルバムや他のディスクへの画像のコピーができます。



ご注意
- プロテクト指定（58ページ）された画像はコピーできません。
- 音声はコピーされません。

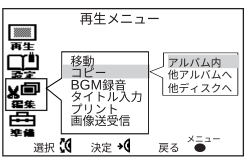
アルバム内でコピーする

1画像ずつコピーできます。

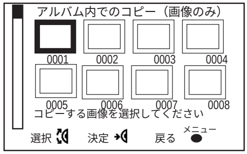
1 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「編集」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
編集メニューにカーソルが移動します。

3 「コピー」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
コピー実行画面が出ます。

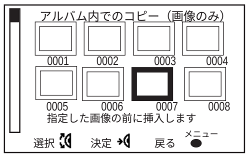


4 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「アルバム内」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
画像選択画面が出ます。

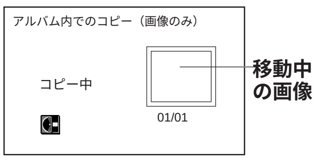


ページを送る
⏮ ⏪、⏩ ⏭ボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

5 選択／決定ジョグダイヤルを回して移動する画像を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
挿入場所指定画面が出ます。



6 選択／決定ジョグダイヤルを回して、コピーしたい場所を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
手順4で選んだ画像が指定した場所の前にコピーされます。



コピーが終了すると、手順4の画像選択画面に戻ります。画像が移動していることが確認できます。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

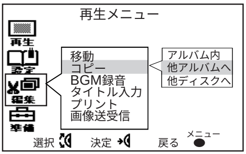
他の画像をコピーする
手順5と6をくり返します。

コピーを終了して、通常画面に戻る
メニューボタンを3回押します。

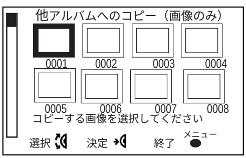
他のアルバムへコピーする

画像を他のアルバムの最後にコピーすることができます。画像は一度に16枚までコピーできます。

1 再生メニューの「編集」から「コピー」を選び選択／決定ジョグダイヤルを押す。
コピー実行画面が出ます。



2 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「他アルバムへ」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
画像選択画面が出ます。

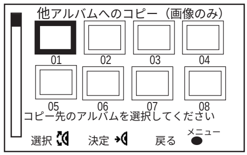


ページを送る
⏮ ⏪ 、⏩ ⏭ボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

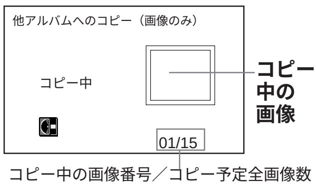
3 選択／決定ジョグダイヤルを回してコピーする画像を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
16枚まで選べます。選んだ画像の画像番号がハイライト表示されます。

ご注意
画像を16枚選ぶと、自動的にコピー先アルバム画面が表示されます。

4 メニューボタンを押す。
アルバム選択画面が表示されます。



5 選択／決定ジョグダイヤルを回して、コピー先のアルバムを選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
手順3で選んだ画像が指定したアルバムの最後にコピーされます。



コピーが終了すると、手順2の画像選択画面に戻ります。

他の画像をコピーする
手順2から5をくり返します。

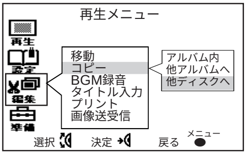
コピーを終了して、通常画面に戻る
メニューボタンを3回押します。

他のディスクへコピーする

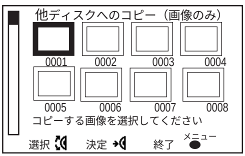
画像を他のディスクの最後にコピーすることができます。画像は一度に4枚までコピーできます。

ご注意
ディスクは必ずあらかじめフォーマットしてください。（19ページ）

1 再生メニューの「編集」から「コピー」を選び選択/決定ジョグダイヤルを押す。
コピー実行画面が出ます。



2 選択/決定ジョグダイヤルを回して、「他ディスクへ」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
画像選択画面が出ます。

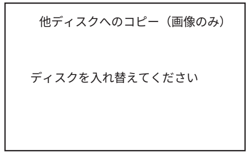


ページを送る
|◀ |◀◀ 、▶▶| ▶|ボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

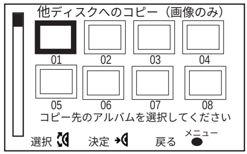
3 選択/決定ジョグダイヤルを回してコピーする画像を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
4枚まで選べます。選んだ画像の画像番号がハイライト表示されます。

ご注意
画像を4枚選ぶと、手順4の画面が表示されます。

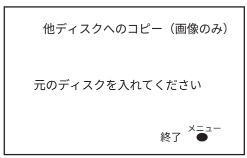
4 メニューボタンを押す。
次の画面が表示されます。



5 ディスクを取り出し、コピー先のディスクに入れ換える。
コピー先ディスクのアルバム選択画面が表示されます。



6 選択／決定ジョグダイヤルを回して、コピー先のアルバムを選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
手順3で選んだ画像が指定したアルバムの最後にコピーされます。
コピーが終了すると次の画面が表示されます。



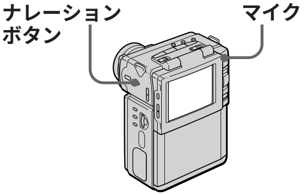
他の画像をコピーする
コピー元のディスクを入れて、手順2から5をくり返します。

コピーを終了して、通常画面にもどる
メニューボタンを2回押します。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

撮影した画像に音声を記録する（アフレコ）

撮影した画像にナレーションを記録することができます。内蔵のマイクで吹き込めます。

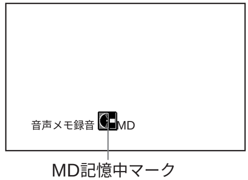


1 音声を記録したい画像を再生またはレックビューする。
撮影時、レックレビュー（24ページ）をしない場合は、最後に撮影された画像にナレーションが記録されます。

2 ナレーションボタンを押す。
「音声メモ準備中」表示が1秒点灯し、そのまま押し続けると「音声メモ録音」表示になります。

3 ナレーションボタンを押し続けながら、マイクに向かってナレーションを吹き込む。
ナレーションが録音されます。

4 録音を終了したい時点で、ナレーションボタンを離す。
ナレーションが画像に記録されます。



記録が終了すると、撮影または再生画面に戻ります。

ご注意

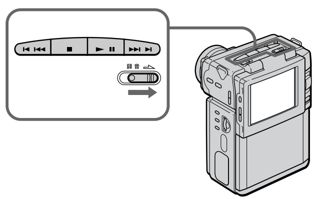
- プロテクト指定された画像には音声を記録できません（58ページ）。あらかじめプロテクト指定を解除してください。
- すでにナレーションが記録されている場合は、前に記録されたナレーションは消え、上書きされます。
- 内蔵マイクでの録音では、ナレーションボタンの操作音が記録されてしまうことがあります。また、長時間ナレーションを録音する場合、MDの回転音が入ることがあります。その場合は、外部マイク（別売り）のご使用をおすすめします。

外部マイクについて

別売りの外部マイクは、下記の機種を推奨します。

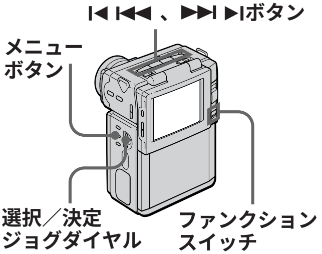
- エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-MS907
- バックエレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-717

手順3でナレーションボタンの代わりに、録音スイッチを押しても録音できます。▶❚❚ボタンで一時停止、■ボタンで停止します。



タイトルを付ける

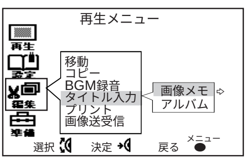
画像またはアルバムにタイトルを付けることができます。



1 **ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。**
再生メニューが出ます。

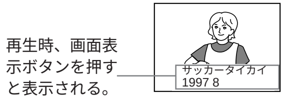
2 **選択／決定ジョグダイヤルを回して「編集」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。**
編集メニューにカーソルが移動します。

3 **「タイトル入力」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。**
タイトル入力メニューが出ます。

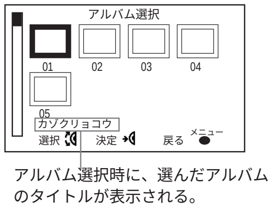


4 **選択／決定ジョグダイヤルを回して、タイトルを付けたい項目を選ぶ。**

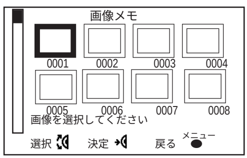
❒ **画像メモ**
画像にタイトルを付ける。
（30文字以内）



❒ **アルバム**
アルバムの代表画像（表紙）にタイトルを付ける。
（15文字以内）



5 **選択／決定ジョグダイヤルを押す。**
画像またはアルバムを選択する画面が表示されます。



ページを送る
I◀ I◀◀ 、▶▶I ▶Iボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

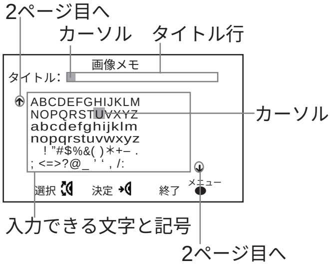
いろいろな編集のしかた

次のページに続く➔

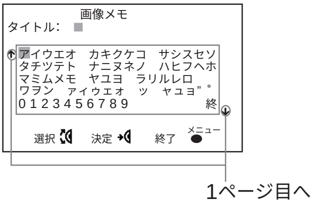
6 選択／決定ジョグダイヤルを回して画像またはアルバムを選び、選択／決定ジョグダイヤルを押します。

タイトル入力画面が出ます。

画像メモの場合



2ページ目

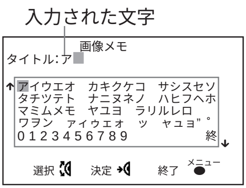


ページを切り換えるには

選択／決定ジョグダイヤルを上下に回し続けるとページが切り換ります。

7 選択／決定ジョグダイヤルを回して、入力したい文字または記号を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

選んだ文字または記号がタイトル行に入力されます。

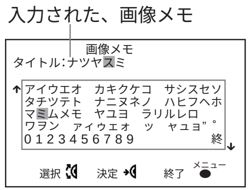


8 手順6をくり返して、タイトルを入力する。

アルバムタイトルは15文字まで、画像メモは30文字まで入力できます。

文字を訂正するには

⏮ ⏪ ボタンで、訂正したい文字までカーソルを移動し、文字を入力し直します。文字は上書きされます。



9 メニューボタンを押す。

入力したタイトルが記録されます。記録が終了すると、手順5の画面に戻ります。

続いて他の画像メモやアルバムタイトルを付ける

手順6~8をくり返します。

タイトル入力を終了して、通常画面に戻る

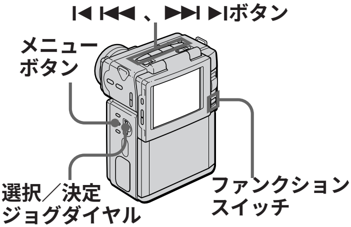
メニューボタンを3回押します。

ご注意

プロテクト指定された画像にはタイトルを記録できません（58ページ）。あらかじめプロテクト指定を解除してください。

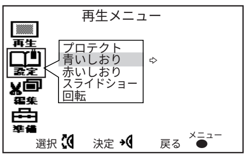
画像にしおりを付ける

画像にしるしを付けて、検索するときの目安にしたり、アルバム内で画像を分類することができます。青と赤の2種類のしおりが使えます。

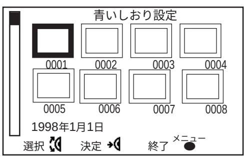


1 **ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。**
再生メニューが出ます。

2 **選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。**
編集メニューにカーソルが移動します。

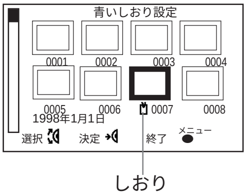


3 **「青いしおり」または「赤いしおり」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。**
画像選択画面が出ます。



ページを送る
I◀ I◀◀ 、▶▶I ▶Iボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

4 **選択／決定ジョグダイヤルを回して、しおりを付けたい画像を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押して指定する。**
複数の画像を選べます。選んだ画像の画像番号の横にしおり（▯）が付きます。（もう一度押すと、しおりが消えます。）
1つの画像に青いしおりと赤いしおりの両方を付けることもできます。



5 **メニューボタンを押す。**
しおりが記録されます。記録が終了すると、手順2の画面に戻ります。

続いて他の画像にしおりを付ける
手順3~5をくり返します。

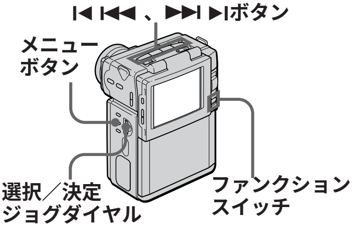
通常画面に戻る
メニューボタンを1回押します。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

ご注意
プロテクト指定（58ページ）された画像にはしおりを記録できません。あらかじめプロテクト指定を解除してください。

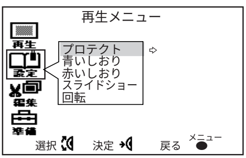
大事な画像を残す（プロテクト指定）

大事な画像を残すために、撮影したすべての画像または画像を選んで誤消去防止（プロテクト）指定ができます。

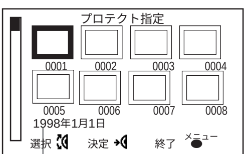


1 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
編集メニューにカーソルが移動します。



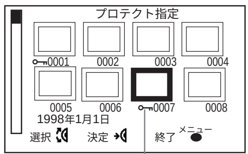
3 「プロテクト」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
画像選択画面が出ます。



選択画像の日付

ページを送る
.I◀◀ ◀◀、▶▶ ▶▶Iボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

4 選択／決定ジョグダイヤルを回してプロテクト指定をする画像を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
複数の画像を選べます。選んだ画像の画像番号の横にプロテクトマーク（o━π）が出ます。（もう一度押すと、指定が解除されます。）



プロテクトマーク

5 メニューボタンを押す。
プロテクトマークが記録されます。記録が終了すると、手順2の画面に戻ります。

続いて他の画像にプロテクト指定をする
手順3~5をくり返します。

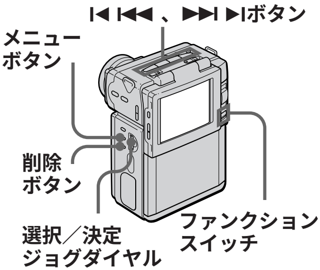
通常画面に戻る
メニューボタンを1回押します。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

ご注意
ディスクが書き込み禁止になっているときは、プロテクト指定はできません。

画像を消す（削除）

不要になった画像を削除できます。アルバム単位またはアルバム内の画像を選んで削除できます。



1 **撮影時、レックレビュー再生時、または再生時、削除ボタンを押す。**

削除範囲選択画面が出ます。（撮影時には、最後に撮影された画像が再生され、削除範囲選択画面が出ます。）



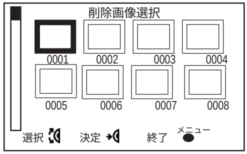
2 **選択／決定ジョグダイヤルを回して、削除する画像の単位を選ぶ。**

- ❒ **この画像**
  今再生している画像を削除。
- ❒ **選択画像**
  一部の画像を選んで削除。
- ❒ **アルバム**
  現在使用中のアルバムの全画像を削除。

3 **選択／決定ジョグダイヤルを回して、削除する画像の単位を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。**

「選択画像」を選んだときは

削除画像選択画面が出ます。



ページを送る

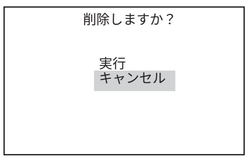
I◀ I◀◀ 、▶▶I ▶Iボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

選択／決定ジョグダイヤルを回して削除する画像を選び、押して指定します。指定された画像の番号が反転表示されます。（もう一度押すと、指定が解除されます。）

指定が終わったら、メニューボタンを押します。削除実行画面が出ます。

「この画像」または「アルバム」を選んだとき

すぐに削除実行画面が出ます。



次のページに続く→

4 選択／決定ジョグダイヤルを回して「実行」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

次の画面が表示されます。音声を録音してあった場合は、音声も同時に削除されます。



削除が終了すると、撮影または再生画面に戻ります。

途中でメニュー操作を中止するには

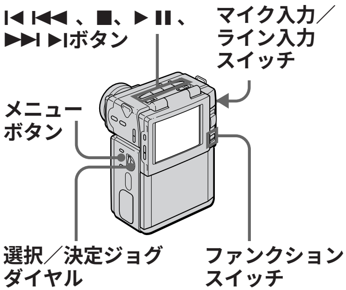
メニューボタンを押します。

ご注意

- 「この画像」または「選択画像」削除を選んだとき、プロテクト指定された画像は選択できません(58ページ)。プロテクト指定された画像を削除するには、あらかじめプロテクト指定を解除してください。
- 一度削除した画像はもとに戻せません。削除する前に内容を確認してください

BGMを録音•消去する

スライドショーで再生するBGMを録音できます。また、不要になったBGMは消去することもできます。



BGMを録音する

1 マイク入力／ライン入力スイッチを「ライン入力」にし、ライン入力端子とCDプレーヤーなどの音源となるオーディオ機器を接続する。

接続のしかたは、「オーディオ機器を接続する」（77ページ）をご覧ください。

2 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。

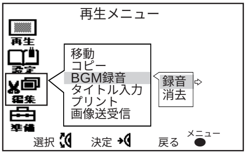
再生メニューが出ます。

3 選択／決定ジョグダイヤルを回して「編集」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

編集メニューにカーソルが移動します。

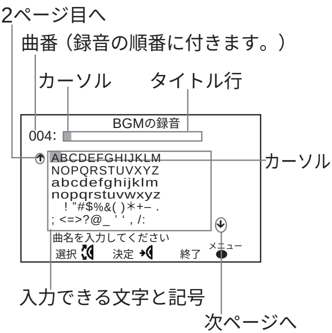
4 「BGM録音」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

BGM設定画面が出ます。

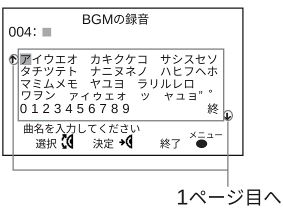


5 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「録音」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

曲名入力画面の1ページ目が出ます。



2ページ目

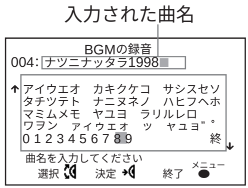


ページを切り換えるには

選択／決定ジョグダイヤルを上下に回し続けるとページが切り換ります。

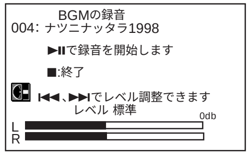
6 「タイトルを付ける」（56ページ）の手順6から7と同様に、曲名を入力する。

15文字まで入力できます。



7 メニューボタンを押す。

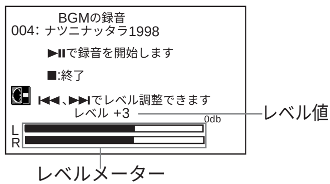
BGM録音待機画面が出ます。



8 録音レベルを調整する。

接続したオーディオ機器で再生を開始し、レベル値とレベルメーターを見ながら、録音レベルを調節します。

レベルを上げる	▶▶I ▶Iボタンを押す。
レベルを下げる	I◀ I◀◀ボタンを押す。



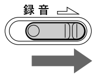
調整が終わったら、いったん再生を停止します。

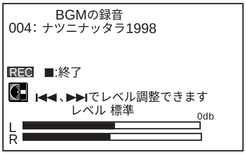
いろいろな編集のしかた

次のページに続く➔

9 ▶❚❚ボタンまたは録音スイッチを押して、録音を開始し、オーディオ機器の再生を始める。

録音が始まります。



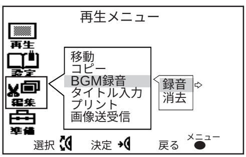


録音を一時停止するには

▶❚❚ボタンを押します。再度押すと、録音を開始します。

10 ■ボタンを押して、録音を終了する。

BGMが記録されます。記録が終了すると「録音終了しました」と表示されます。メニューボタンを押すと、手順4のBGM設定画面に戻ります。



続いて他のBGMを録音するには

手順5~10をくり返します。

BGM録音を終了して、通常画面に戻る

メニューボタンを2回押します。

途中でメニュー操作を中止するには

メニューボタンを押します。

BGMを消去する

録音したBGMを消去できます。また、消去するまえに再生して内容を確認することもできます。

1 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。

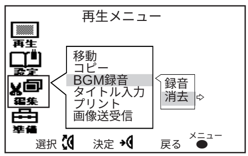
再生メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「編集」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

編集メニューにカーソルが移動します。

3 「BGM録音」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

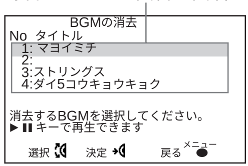
BGM設定画面が出ます。



4 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「消去」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

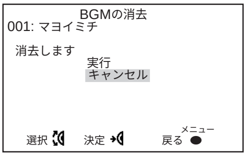
BGMの消去画面が出ます。

録音されている曲番と曲名

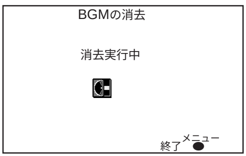


曲を再生して確認する
選択／決定ジョグダイヤルを回して、確認したい曲を選び、▶❚❚ボタンを押します。選んだ曲が再生されます。再生を停止するには、■ボタンを押します。

5 選択／決定ジョグダイヤルを回して、消去したい曲を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
消去の確認画面が出ます。



6 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「実行」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだ曲が消去されます。



消去が終わると、手順3のBGM設定画面が表示されます。

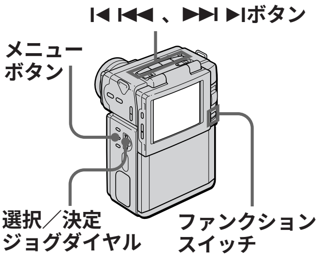
続いて他の曲も消去する
手順4から6をくり返します。

消去を終了する
メニューボタンを2回押します。通常画面に戻ります。

途中でメニュー操作を中止するには
メニューボタンを押します。

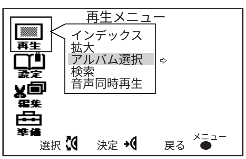
アルバムを選ぶ

画像を記録•再生するアルバムを選んだり、新しく作ることができます。いったんアルバムを選ぶと、MDデータディスクを交換するまでは同じアルバムが選ばれています。

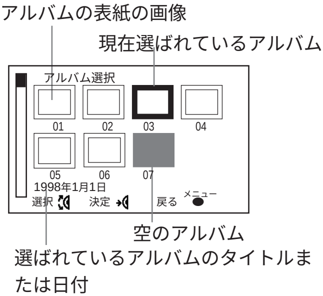


1 ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

2 「再生」にカーソルが合っていることを確認し、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューにカーソルが移動します。



3 選択／決定ジョグダイヤルを回して「アルバム選択」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
アルバム選択画面が出ます。



それぞれのアルバムの表紙が一覧表示されています。表紙画像がないアルバムは空のアルバムです。1枚のディスクにアルバムは全部で30個まで作れます。1つのアルバムに保存できる画像数は最大で1000枚までです。

違うページを表示する
違うページがあるときは、選択／決定ジョグダイヤルを回すか、I◀ I◀◀ 、▶▶I ▶Iボタンで8アルバム単位でページを送ります。

4 選択／決定ジョグダイヤルを回して画像を保存、再生するアルバムを選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
メニューが消え、通常画面に戻ります。

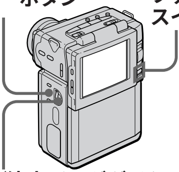
新しいアルバムを作るには
手順4で空のアルバムを選びます。

途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。

連写枚数と間隔を設定する

連写撮影とタイムマシン撮影の枚数と間隔を設定できます。

メニューボタン　ファンクションスイッチ

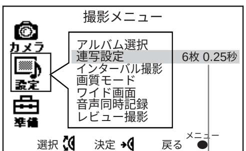


選択／決定ジョグダイヤル

1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。
撮影メニューが出ます。

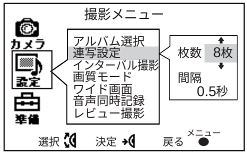
2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
設定メニューにカーソルが移動します。

3 「連写設定」にカーソルを合わせる。
現在の設定値が表示されます。



現在の連写間隔

4 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
連写設定画面が出ます。



5 選択／決定ジョグダイヤルを回して連写枚数を選ぶ。
2枚から10枚の間で選びます。

6 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
カーソルが「間隔」に移動します。

7 選択／決定ジョグダイヤルを回して連写間隔を選ぶ。
0.25秒、0.5秒、0.75秒、1秒から選びます。

8 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
設定値が有効になり、設定画面が消えます。

9 メニューボタンを2度押す。
撮影メニューが消えます。

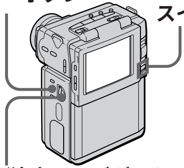
途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。

画質モードと連写設定について
ファインモードでは、設定した枚数よりも少ない枚数が撮影されます。連写設定が10枚の場合、タイムマシン撮影では、撮影される枚数は次のとおりです。

画質モード	前	後
スタンダードモード	5枚	5枚
ファインモード	3枚	2枚

インターバル撮影の枚数と間隔を設定する

インターバル撮影の撮影枚数と間隔を設定します。



1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。

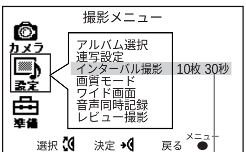
撮影メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

設定メニューにカーソルが移動します。

3 「インターバル撮影」にカーソルを合わせる。

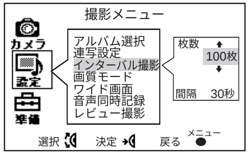
現在の設定値が表示されます。



現在の間隔と枚数設定

4 選択／決定ジョグダイヤルを押す。

インターバル撮影設定画面が出ます。



5 選択／決定ジョグダイヤルを回して「枚数」を選ぶ。

2枚から1000枚の間で選びます。

6 選択／決定ジョグダイヤルを押す。

カーソルが「間隔」に移動します。

7 選択／決定ジョグダイヤルを回して連写間隔を選ぶ。

20秒から24時間の間で選びます。

8 選択／決定ジョグダイヤルを押す。

設定値が有効になり、設定画面が消えます。

9 メニューボタンを2度押す。

撮影メニューが消えます。

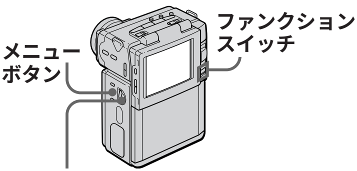
途中で操作を中止するには

メニューボタンを押します。

画質モードを選ぶ

2通りの画質モードを選んで撮影できます。画質モードによって撮影できる枚数が異なります。

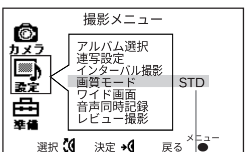
画質モードの選択について
本機でフォーマットを行うと、つねにダイアリーモードでフォーマットされます。ダイアリーモードで選択できる画質モードはスタンダードモードのみです。ファインモードでお使いになるには、あらかじめアルバムモードをフリーモードに変更してください。変更の方法については、「MDデータディスクの記録モードを切り換える（アルバムモード）」（71ページ）をご覧ください。



1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。
撮影メニューが出ます。

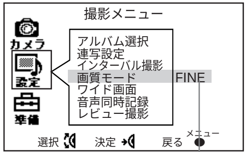
2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

3 「画質モード」にカーソルを合わせる。
現在の画質モードが表示されます。



現在の画質モード設定

4 選択／決定ジョグダイヤルを押して、画質モードを選ぶ。
押す度にモードが切り換わります。



新しい画質モード設定

- ❒ **ファイン**(FINE)
  画質を優先するときに使う。（撮影可能枚数はスタンダードの約半分になる。）
- ❒ **スタンダード**(STD)
  標準画質モード。

5 メニューボタンを2度押す。
選んだ画質モードに設定され、撮影メニューが消えます。

画質モードの違いは？
画像を記録するときの圧縮率の違いです。画像は、JPEGという方式で圧縮処理をしてから記憶されますが、記録されるときに割り当てられるメモリー容量が画質モードにより次のように異なります。（画素数は、画質モードに関係なく640 X 480で、圧縮前のデータ量は約450 Kバイトです。）

ファインモード	128 Kバイト
スタンダードモード	64 Kバイト

ご注意
画像によっては、画質モードを変えても、画質に差がない場合もあります。

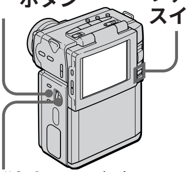
途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。

横長の画面にする（ワイド画面）

再生したときに横長のワイド画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

いつ使う？ ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき。

メニューボタン　ファンクションスイッチ



選択／決定ジョグダイヤル

1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。

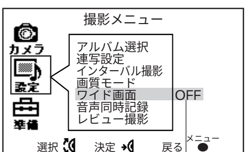
撮影メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

設定メニューにカーソルが移動します。

3 「ワイド画面」にカーソルを合わせる。

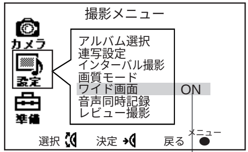
現在の画面モードが表示されます。



現在のワイド画面設定

4 選択／決定ジョグダイヤルを押して、画面モードを選ぶ。

押す度にモードが切り換わります。



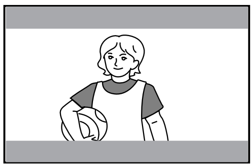
新しいワイド画面設定

❒ ON
横長のワイド画面で表示される。

❒ OFF
通常のテレビ画面で表示される。

5 メニューボタンを2度押す。

選んだ画面モードに設定され、撮影メニューが消えます。



通常の画面モードに戻すには

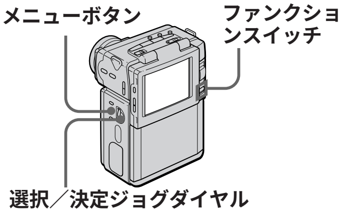
手順4で「OFF」を選びます。

途中で操作を中止するには

メニューボタンを押します。

スライドショーを設定する

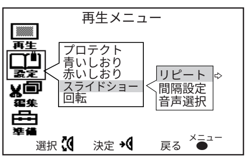
スライドショーでのリピート再生、画像を切り換える間隔、再生される音声の設定を行います。



1　ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

2　選択／決定ジョグダイヤルを回して「設定」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
設定メニューにカーソルが移動します。

3　「スライドショー」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
スライドショー設定画面が出ます。



❐ **リピート**
くり返し再生するか、一度再生した後で自動的に停止するかを設定する。

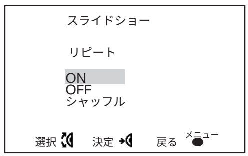
❐ **間隔設定**
画像が切り換わる間隔を設定する。

❐ **音声選択**
画像と同時に再生される音声を選択する。

4　選択／決定ジョグダイヤルを回して、設定する項目を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだ項目の設定画面に切り換わります。

リピート再生を設定する

選択／決定ジョグダイヤルを回して、再生モードを選びます。



❐ ON
停止させるまで最初の画像から最後の画像順にくり返し再生する（リピート再生）。

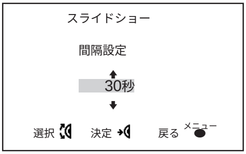
❐ OFF
最初の画像から最後の画像まで一度再生した後で自動的に停止する。

❐ **シャッフル**
停止させるまで画像を順不同にくり返し再生する。

選択／決定ジョグダイヤルを押すと、選んだ再生モードに設定され、手順3の画面に戻ります。

再生間隔を設定する

選択／決定ジョグダイヤルを回して、画像が切り換わる間隔を4秒から60秒の間で設定します。



選択／決定ジョグダイヤルを押すと、選んだ間隔に設定され、手順3の画面に戻ります。

音声を選ぶ

選択／決定ジョグダイヤルを回して、画像といっしょに再生する音声を選びます。



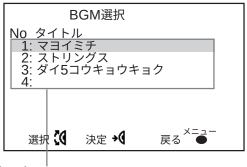
❐ **ナレーション**

画像に記録したナレーションを再生します。

❐ BGM

録音してあるBGM（60ページ）を再生します。(BGMが録音されていないときは、この項目は選べません。)

複数のBGMが録音されている場合は、BGM選択画面が表示されます。曲を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押します。



録音しているBGMのタイトルが表示される。タイトルが入力されていない曲は、曲番が表示される。

❐ **音声無し**

音声は再生しません。

選択／決定ジョグダイヤル回して、音声を選び、選択決定ジョグダイヤルを押しす。音声が選ばれ、手順3の面に戻ります。

5 メニューボタンを3回押す。

再生メニューが消えます。

途中で操作を中止するには

メニューボタンを押します。

MDデータディスクの記録モードを切り換える（アルバムモード）

画像と音声をMDデータディスクに記録する方法（アルバムモード）には、次の2つの方法があります。

❒ **ダイアリーモード**

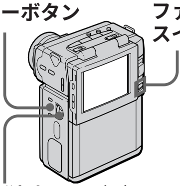
MDデータディスクの記憶領域をあらかじめ画像記録用と音声記録用に分けて割り当てます。画像はスタンダードモードで365枚、音声は最大約40分記録できます。

❒ **フリーモード**

MDデータディスクの記憶領域を画像記録用と音声記録用に自由に割り当てることができます。音声を記録せずに画像だけを記録した場合、ひとつのアルバムにつき最大1000枚記録することができます。

フォーマットすると、自動的にダイアリーモードに設定されますが、途中からフリーモードに切り換えることができます。（フリーモードからダイアリーモードに切り換えることはできません。）

いつ使う? 画像を多く撮影したいときなど。

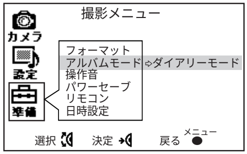


1 ファンクションスイッチを「カメラ」に合わせ、メニューボタンを押す。

撮影メニューが出ます。

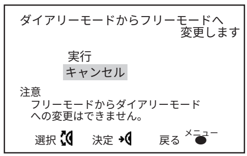
2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「準備」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

準備メニューにカーソルが移動します。



3 「アルバムモード」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

次の画面が表示されます。



4 選択／決定ジョグダイヤルを回して「実行」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

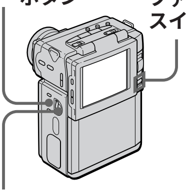
アルバムモードがフリーモードに変更されます。

途中で操作を中止するには

メニューボタンを押します。

操作音を消す

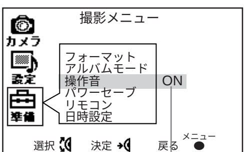
本機のボタンを押したり、ダイヤルを回すと、確認のために「ピ」という操作音が聞こえます。この操作音は消すこともできます。



1 ファンクションスイッチを「カメラ」または「再生/オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
撮影メニューまたは再生メニューが出ます。

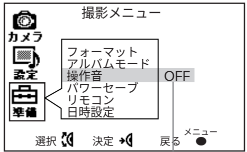
2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「準備」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
準備メニューにカーソルが移動します。

3 「操作音」にカーソルを合わせる。
現在の操作音設定が表示されます。



現在の操作音設定

4 選択／決定ジョグダイヤルを押して、操作音設定を選ぶ。
押す度に設定が切り換わります。



操作音を消す

❐ ON
操作音がする。

❐ OFF
操作音はしない。

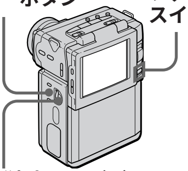
5 選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだモードに設定されます。

6 メニューボタンを2回押す。
メニューが消えます。

途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。

パワーセーブ機能を切る

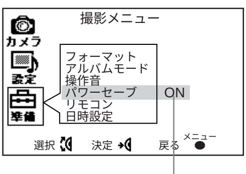
バッテリーの消耗を防ぐため、撮影時、操作していないときに自動的に液晶画面を消したり、電源を切ることができます(パワーセーブ機能)。パワーセーブ機能が働かないように設定することもできます。



1 **ファンクションスイッチを「カメラ」または「再生/オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。**
撮影メニューまたは再生メニューが出ます。

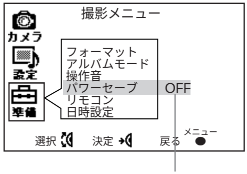
2 **選択／決定ジョグダイヤルを回して「準備」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。**
準備メニューにカーソルが移動します。

3 **「パワーセーブ」にカーソルを合わせる。**
現在のパワーセーブ設定が表示されます。



現在のパワーセーブ設定

4 **選択／決定ジョグダイヤルを押して、パワーセーブ機能設定を選ぶ。**
押す度に設定が切り換わります。



パワーセーブ機能を切る

❒ ON
撮影時、約30秒（シャッターボタンを押した後は約10秒）操作をしないと自動的に液晶画面が消えて、さらに約3分で自動的に電源が切れます。

❒ OFF
撮影時は3分、再生時は5分操作をしないと自動的に電源が切れます。

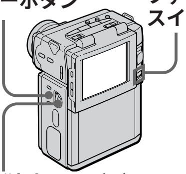
5 **メニューボタンを2回押す。**
選んだモードに設定され、メニューが消えます。

途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。

ご注意
アクセサリーキットACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプターをつないでいるときは、パワーセーブ機能は働きません。

ワイヤレスリモコンの使用をやめる

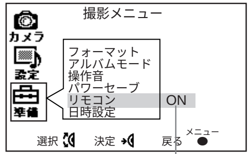
付属のワイヤレスリモコンを使って、撮影や、ズーム操作、画像の削除、再生画像の早送り、早戻し、メニュー操作などのほとんどの操作を行うことができます。ワイヤレスリモコンをお使いにならないときは、リモコンモードを「OFF」に設定します。



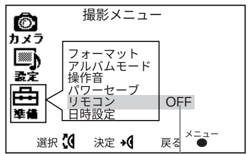
1 ファンクションスイッチを「カメラ」または「再生/オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
撮影メニューまたは再生メニューが出ます。

2 選択／決定ジョグダイヤルを回して「準備」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
準備メニューにカーソルが移動します。

3 「リモコン」にカーソルを合わせる。
現在のリモコン設定が表示されます。



4 選択／決定ジョグダイヤルを押して、リモコン設定を選ぶ。
押す度に設定が切り換わります。



❒ ON
ワイヤレスリモコン受信可能。

❒ OFF
ワイヤレスリモコン受信不可能。

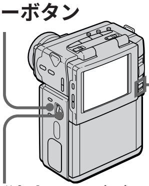
5 メニューボタンを2度押す。
選んだモードに設定され、メニューが消えます。

ワイヤレスリモコンへのバッテリーの入れかた、各ボタンの名称と働きについては、「各部のなまえ」の「ワイヤレスリモコン」（119ページ）をご覧ください。

途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。

日時を合わせる

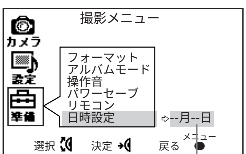
時計を合わせておくと、自動的に撮影日時が記録されます。プリント時には、プリントメニューで日時を入れるかどうかを選べます。
次の手順で時計を合わせます。



1 **ファンクションスイッチを「カメラ」または「再生/オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。**
撮影メニューまたは再生メニューが出ます。

2 **選択／決定ジョグダイヤルを回して「準備」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。**
準備メニューにカーソルが移動します。

3 **「日時設定」にカーソルを合わせる。**
現在設定されている日時が表示されます。



日時が設定されていないときは、「– –月– –日」と表示される。

4 **選択／決定ジョグダイヤルを押す。**
日時設定画面が出ます。「年」の欄が選ばれています。



5 **選択／決定ジョグダイヤルを回して年を設定し、選択／決定ジョグダイヤルを押す。**
「月」の項目が選ばれます。

6 **手順5と同様に、月、日、時、分の項目を設定する。**
分を設定し、選択／決定ジョグダイヤルを押すと、手順3の画面に戻り、時計が動き始めます。

正確な時刻に合わせるには
分を設定し終わったら、時報と共に選択/決定ジョグダイヤルを押します。

7 **メニューボタンを押す。**
メニューが消えます。

途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。それまで設定された項目だけが設定されます。

時計を合わせ直すには
手順5で選択／決定ジョグダイヤルを押して、合わせ直す欄を選びます。

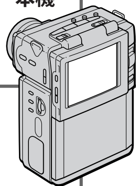
時刻の記憶について
時刻は内部バッテリーで記録されます。バッテリーを使いきった状態でも、約2ヶ月間は、時計データは更新されますが、常に充電してお使いになることをお勧めします。
日時の設定が解除された場合は、バッテリーを充電後、時計を合わせてください。

音楽用ミニディスクご使用時の日時合わせ
オーディオメニューで「日時設定」を選び同じ手順で時計を合わせておくと、録音日時が記録されます。

接続できる機器

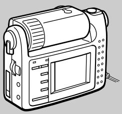
本機のAV出力端子、赤外線データ送受信部、デジタルI/O端子、ライン入力を使って、他の機器と画像データのやりとりや音声の入力ができます。

本機

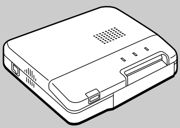


赤外線データ送受信部を使う（　部）

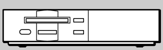
デジタルスチルカメラDSC-F3などの赤外線データ通信システム対応機器
画像の転送ができます。（85ページ）



デジタルカラープリンター
撮影した画像をプリントできます。（78ページ）

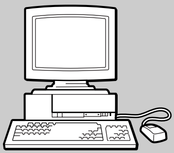


デジタルピクチャーアルバム
画像の編集などを行います。（85ページ）



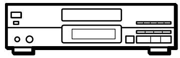
デジタルI/O端子と接続

パソコン
画像を取り込んだり、加工できます。（81ページ）



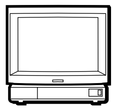
ライン入力と接続

オーディオ機器
BGMなどの音声を送ります。（77ページ）

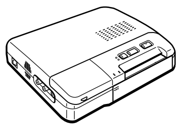


AV出力端子と接続

テレビ
スライドショー再生などを見るときに便利です。（77ページ）



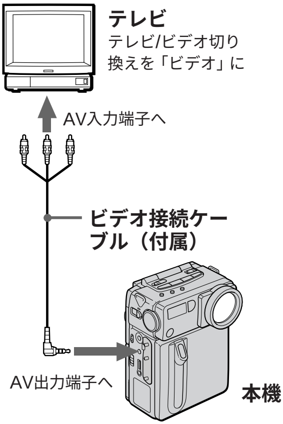
カラービデオプリンター
撮影した画像をプリントできます。（81ページ）



ご注意
- 接続ケーブルをつなぐときは、本機と接続する機器の電源を切ってから接続ケーブルをつなぎ、再度電源を入れてください。
- 本機を他の機器とつないで長時間ご使用になる場合は、アクセサリーキット ACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプターをお使いください。

テレビで見る

ビデオ端子のあるテレビに接続できます。スライドショー再生などを見たり、ピント合わせをするときに便利です。



1 **本機のAV出力端子とテレビのAV入力端子を接続する。**

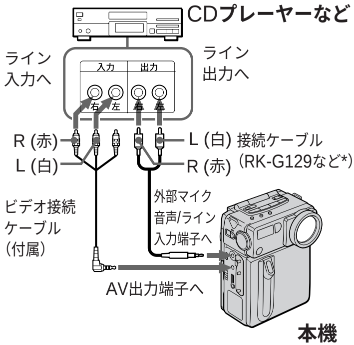
2 **テレビのテレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。**

3 **本機で画像を再生する。**
テレビ画面に再生画像が映ります。

ご注意
ビデオ端子がないアンテナ入力端子だけのテレビには接続できません。

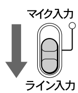
オーディオ機器を接続する

CDプレーヤーなどの機器をつなぎ、本機に音楽を送ることができます。付属のビデオ接続ケーブルと別売りオーディオコードが必要です。



* ポータブルCDプレーヤーなどのステレオミニジャックに接続するときは、RK-G136など。

1 **マイク入力／ライン入力スイッチを、「ライン入力」にし、本機の外部マイク音声／ライン入力端子、AV出力端子とCDプレーヤーなどの音源となるオーディオ機器のライン入出力を接続する。**



2 **オーディオ機器で音声を再生する。**

ご注意
- つなぐときは、プラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと、雑音の原因になります。
- 接続コードには抵抗の入っていないものをお使いください。

プリントする

本機で撮影した画像をプリンターでプリントできます。
お使いになるプリンターの種類によって、2通りの通信方法があります。
お使いになるプリンターの取扱説明書もご覧ください。

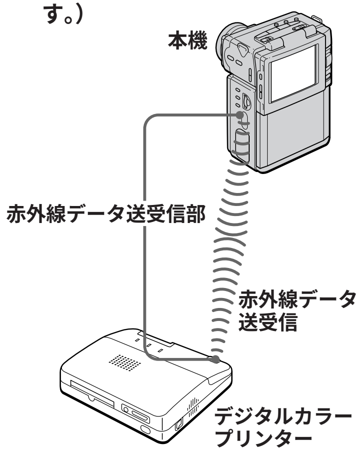
1 IrDA（赤外線データ通信）対応のデジタルカラープリンター（DPP-M55など）
➜ 赤外線データ通信を行います。(78ページ)

2 ビデオ端子のあるビデオプリンター（CVP-M55など）
➜ ケーブル接続を行います。（81ページ）

1 赤外線データ送受信部を使う方法（IrDA対応のデジタルカラープリンター、DPP-M55など）

本機で撮影した画像を、デジタルカラープリンターDPP-M55（別売り）で簡単にプリントできます。操作は、本機のメニューで行います。

1 プリンターと本機の電源を入れ、それぞれの赤外線データ送受信部が向かい合うようにする。（約10〜30cm、中心からの左右角度15° の範囲に置きます。）



ご注意
- 送信機と受信機は送受信可能範囲に置き、遠ざけ過ぎたり、近づけ過ぎたりしないでください。送受信ができなかったり、ノイズが発生する原因になります。
- 送受信部を手や物などでおおわないでください。
- 壁や不透明なガラスなどは赤外線を通しません。なお、ガラスなどを通すと、伝送距離が短くなります。

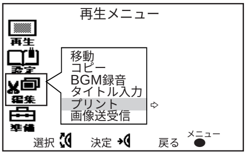
2　ファンクションスイッチを「再生／オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。

再生メニューが出ます。

3　選択／決定ジョグダイヤルを回して「編集」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

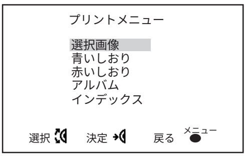
編集メニューにカーソルが移動します。

4　「プリント」にカーソルを合わせる。



5　選択／決定ジョグダイヤルを押す。

プリント設定画面が出ます。



6　選択／決定ジョグダイヤルを回して、プリントする画像を選ぶ。

❒ **選択画像**

現在のアルバム内で画像を選んでプリントする。

❒ **青いしおり／赤いしおり**

しおりのついた画像をプリントする。

❒ **アルバム**

アルバムを選び、アルバム内の全画像をプリントする。

❒ **インデックス**

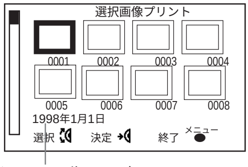
現在のアルバムの全画像を1/16のサイズに縮小して16枚ずつプリントする。

インデックスを選んだ場合は

すぐにプリント実行画面が表示されます。手順9へ進んでください。

7　選択／決定ジョグダイヤルを押す。

手順4で選んだ画像の選択画面が出ます。



選んだ画像の日時

ページを送る

|◀ |◀◀ 、▶▶| ▶|ボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

8　選択／決定ジョグダイヤルを回してプリントする画像を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

16枚まで選べます。選んだ画像の画像番号がハイライト表示されます。もう一度押すと、プリント指定が解除されます。

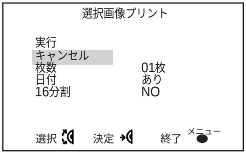
ご注意

画像を16枚選ぶと、自動的にプリント実行画面が表示されます。

次のページに続く→

9 メニューボタンを押す。

プリント実行画面が出ます。



10 選択／決定ジョグダイヤルを回して設定したいプリントの項目を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

選んだ項目が設定できるようになります。

❒ **枚数**

選択／決定ジョグダイヤルを回して、1枚から25枚の間で設定する。

❒ **日付**

選択／決定ジョグダイヤルを押して、日付をプリントする場合は「あり」、しない場合は「なし」を選ぶ。

❒ **16分割**

選択／決定ジョグダイヤルを押して、16分割プリントをする場合は「YES」、しない場合は「NO」を選ぶ。

11 選択／決定ジョグダイヤルを押す。

設定が有効になります。他の項目を設定する場合は、手順10と11を繰り返します。

12 選択／決定ジョグダイヤルを回して「実行」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

プリントが始まります。



プリント実行枚数／プリント予定全画像数

プリントが終了すると、手順4の画面に戻ります。

他の画像をプリントする

手順5から12をくり返します。

通常の再生画面に戻る

メニューボタンを3回押します。

途中で操作を中止するには

メニューボタンを押します。

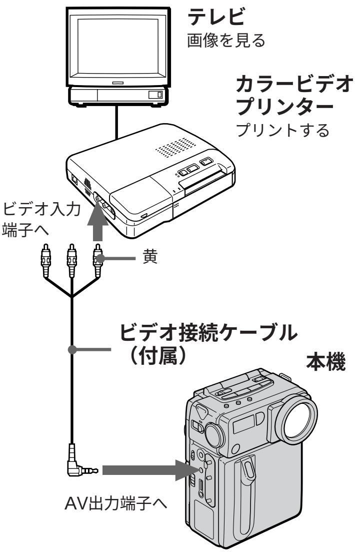
一度に複数枚数をプリントする

専用のオートフィーダーをお使いになることをお勧めします。自動的にプリントペーパーが給紙され、1枚ずつプリントペーパーを差し込む手間が省けます。
プリンターが途中で止まったときは、オートフィーダーに入っているプリントペーパーの枚数が不足している場合があります。詳しくは、プリンターとオートフィーダーの取扱説明書をお読みください。

2 ビデオ端子にケーブルを接続する方法（ビデオプリンター、CVP-M55など）

ビデオ端子のあるプリンターに画像を送りプリントできます。

1 本機のAV出力端子とプリンターのビデオ入力端子を接続する。



2 本機で画像を再生する。

テレビ画面に再生画像が映ります。

3 プリンターで画像を取り込み、プリントする。

画像の取り込みとプリントの方法については、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンで使う

別売りのパソコン接続キット DSKIT-PC4（Windows/Macintosh用）を使って、パソコンとの間で画像データのやりとりができます。

お使いになるパソコンの種類によって、2通りの通信方法があります。

1 IrDA（赤外線データ通信）対応のパソコン（IBM PC/ATおよびその互換機、一部のNEC PC-98シリーズ）

→ 赤外線データ通信を行います。(82ページ)

2 RS-232C端子またはモデムポートのあるパソコン（IBM PC/ATおよびその互換機、NEC PC-98シリーズ、Macintosh）

→ ケーブル接続を行います。（83ページ）

＊パソコン接続キット

パソコンと本機を接続するための専用の接続ケーブルと、パソコンで本機の画像を取り込み、処理するためのアプリケーションソフトウェアPic 'n' Rollが付属されています。

ご注意

DSC-F1/F2用のパソコン接続キットDSKIT-PC1W/2W/3W/1M/3Mは、本機ではお使いになれません。DSKIT-PC4（Windows/Macintosh用）をご使用ください。

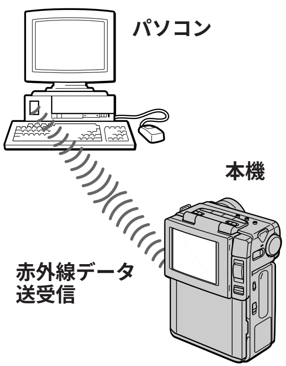
撮影した画像を他の機器で使う

次のページに続く→

1 赤外線データ送受信部を使う方法（IBM PC/ATおよびその互換機、一部のNEC PC-98シリーズ）

1 パソコンにソフトウェアをインストールする。
アプリケーションソフトウェアPic 'n' Rollや赤外線ドライバーをインストールします。
赤外線通信アダプター、（DSKIT-IR2Wなど）をパソコンに接続して使用するときは、付属のドライバーもインストールします。
詳しくは、Pic 'n' Rollまたは赤外線通信アダプターの取扱説明書をご覧ください。

2 本機とパソコンまたは赤外線アダプターの赤外線送受信部同士が向かい合うように置く（約10〜30cm、中心からの左右角度15° の範囲内）。

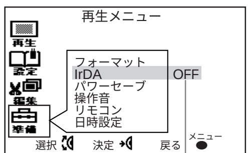


ご注意
- 送信機と受信機は送受信可能範囲に置き、遠ざけ過ぎたり、近づけ過ぎたりしないでください。送受信ができなかったり、ノイズが発生する原因になります。
- 送受信部を手や物などでおおわないでください。
- 壁や不透明なガラスなどは赤外線を通しません。なお、ガラスなどを通すと、伝送距離が短くなります。

3 本機の電源を入れ、ファンクションスイッチを「再生/ オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。
再生メニューが出ます。

4 選択／決定ジョグダイヤルを回して「準備」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。
準備メニューにカーソルが移動します。

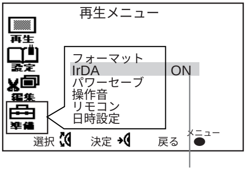
5 「IrDA」にカーソルを合わせる。
現在のIrDA（赤外線通信）設定値が表示されます。



❒ ON
IrDA（赤外線通信）でデータのやりとりを行う。

❒ OFF
デジタルI/O端子とケーブル接続でデータのやりとりを行う。

6 選択／決定ジョグダイヤルを押して、「ON」を選ぶ。
押す度にON、OFFが切り換わります。



IrDA通信が可能になる

7 メニューボタンを2回押す。
IrDAモードが「ON」に設定され、赤外線データ送受信ができるようになります。メニューが消えます。

途中で操作を中止するには
メニューボタンを押します。

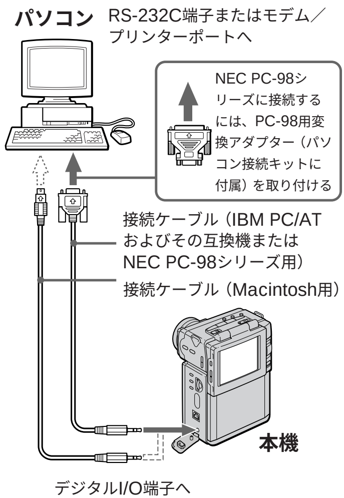
8 手順1でインストールしたアプリケーションソフトウェアを操作して、本機の画像データを取り込み、処理する。
パソコンでの操作方法は、パソコンとPic 'n' Rollまたはお使いになっているアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- パソコンで操作している間、本機側での操作はできません。
- Pic 'n' Rollを使用してパソコンで画像の追加／削除などを行った場合、MDデータディスクの内容と異なる情報表示になることがあります。通信終了後もひきつづき本機をご使用になる場合は、電源を入れ直してください。

2 デジタルI/O端子にケーブルを接続する方法（IBM PC/ATおよびその互換機、NEC PC-98シリーズ、Macintosh）

1 パソコンにソフトウェアをインストールする。
アプリケーションソフトウェアPic 'n' Rollをインストールします。詳しくは、Pic 'n' Rollの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコン接続キットに付属の接続ケーブルを使い、本機のデジタルI/O端子とパソコンのRS-232C端子またはモデムポートを接続する。



次のページに続く→

3 本機の電源を入れ、ファンクションスイッチを「再生/ オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。

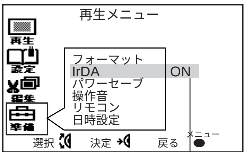
再生メニューが出ます。

4 選択／決定ジョグダイヤルを回して「準備」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

準備メニューにカーソルが移動します。

5 「IrDA」にカーソルを合わせる。

現在のIrDA（赤外線通信）設定値が表示されます。



現在のIrDA設定

❒ ON

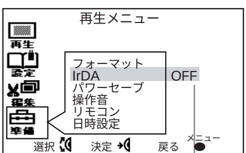
IrDA（赤外線通信）でデータのやりとりを行う。

❒ OFF

デジタルI/O端子とケーブル接続でデータのやりとりを行う。

6 選択／決定ジョグダイヤルを押して､「OFF」を選ぶ。

押す度にON、OFFが切り換わります。



ケーブル接続による通信が可能になる

7 メニューボタンを2回押す。

IrDAモードが「OFF」に設定され、デジタルI/O端子に接続ケーブルを接続してデータのやりとりができるようになります。メニューが消えます。

8 手順1でインストールしたアプリケーションソフトウェアを操作して、本機の画像データを取り込み、処理する。

パソコンでの操作方法は、パソコンとPic ’n’ Rollまたはお使いになっているアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

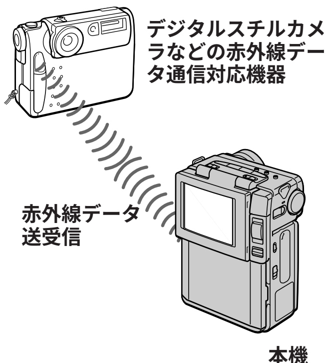
ご注意

- パソコンで操作している間、本機側での操作はできません。
- Pic ’n’ Rollを使用してパソコンで画像の追加／削除などを行った場合、MDデータディスクの内容と異なる情報表示になることがあります。通信終了後もひきつづき本機をご使用になる場合は、電源を入れ直してください。

赤外線データ通信システム対応機器で使う（画像送受信）

本機と同じデジタルスチルカメラどうしや、デジタルピクチャーアルバムDPA-1（別売り）と、赤外線データ通信機能を使って画像の送受信ができます。画像またはアルバム単位で画像を送受信できます。

1 本機とダビングをする機器の赤外線送受信部同士が向かい合うように置く。（約10〜30cm、中心からの左右角度15°の範囲内に置く。）



ご注意

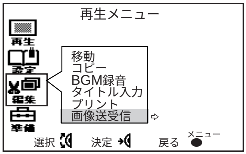
- 送信機と受信機は送受信可能範囲に置き、遠ざけ過ぎたり、近づけ過ぎたりしないでください。送受信ができなかったり、ノイズが発生する原因になります。
- 送受信部を手や物などでおおわないでください。
- 壁や不透明なガラスなどは赤外線を通しません。なお、ガラスなどを通すと、伝送距離が短くなります。

2 本機の電源を入れ、ファンクションスイッチを「再生/ オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。

再生メニューが出ます。

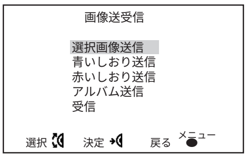
3 選択／決定ジョグダイヤルを回して「編集」を選び、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

編集メニューにカーソルが移動します。



4 「画像送受信」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

画像送受信設定画面が出ます。



5 選択／決定ジョグダイヤルを回して、送受信する画像を選ぶ。

❒ **選択画像送信**

アルバム内の画像を選んで送信する。

❒ **青いしおり送信／赤いしおり送信**

青または赤いしおりのついた画像を送信する。

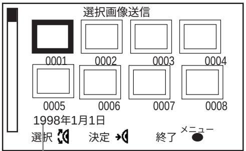
次のページに続く➔

❒ **アルバム送信**
アルバムを選んで、アルバムの全画像を送信する。

❒ **受信**
他の機器から画像を受信する。

6 選択／決定ジョグダイヤルを押す。

手順5で選んだ画像の選択画面が出ます。



選んだ画像の日時が表示される。

ページを送る
|◀ |◀◀ 、▶▶| ▶|ボタンを押すと、画像を8枚ずつ前後に送ることができます。

「受信」を選んだ場合は
すぐに画像送受信実行画面が表示されます。手順8へ進んでください。

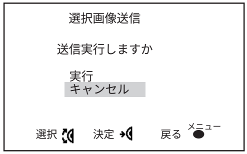
7 選択／決定ジョグダイヤルを回して送受信する画像を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

16枚まで選べます。選んだ画像の画像番号がハイライト表示されます。もう一度押すと、送受信指定が解除されます。

ご注意
画像を16枚選ぶと、自動的に画像送受信実行画面が表示されます。

8 メニューボタンを押す。

画像送受信実行画面が出ます。



9 送受信先の機器の準備をする。

本機で受信するときは
送信元を送信待機状態にします。

本機から送信するときは
受信元を受信待機状態にします。

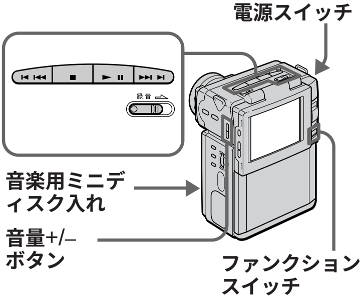
詳しくは、送受信先の機器の取扱説明書をご覧ください。

10 選択／決定ジョグダイヤルを回して「実行」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。受信するときは、30秒以内に送信元から送信を開始する。

画像の送受信が始まります。

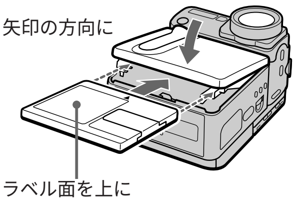
再生する

音楽用ミニディスクの再生ができます。音楽用ミニディスクを入れると自動的に操作画面が表示されます。



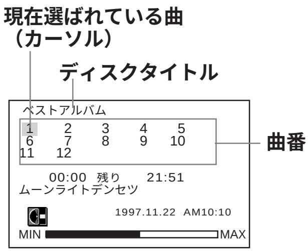
1 ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」にする。

2 音楽用ミニディスクを入れる。



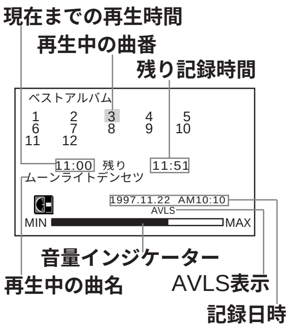
3 電源スイッチを入れる。

音楽用ミニディスクの操作画面が表示されます。



4 ⏮ ⏪、⏩ ⏭ボタンで再生したい曲を選び、▶⏸ボタンを押す。または、選択／決定ジョグダイヤルを回して曲を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

選んだ曲の再生が始まります。液晶画面は3秒後に消えます（パワーセーブ機能）。

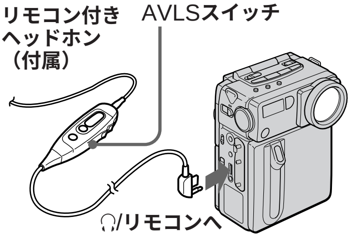


こんなとき	押すボタン
再生を一時停止・再開する	▶⏸ボタン
次の曲を再生する	⏩ ⏭ボタン(軽く押す)
前の曲を再生する	⏮ ⏪ ボタン(軽く押す)
早送りする	⏩ ⏭ボタン(押し続ける)
早戻しする	⏮ ⏪ ボタン(押し続ける)
再生を停止する	■ボタン
音量を上げる	音量+ボタン
音量を下げる	音量–ボタン
液晶画面を確認する	画面表示ボタン
液晶画面を調節する	LCD明るさ+/–ボタン

次のページに続く➔

リモコンでも操作できます

付属のリモコン付きヘッドホンを🎧/リモコンジャックへつなぎます。



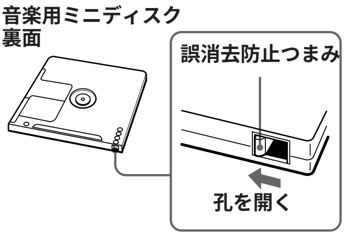
音量の調節、再生、早戻し、早送り、停止など、本体と同様に操作できます。

音もれを抑える（AVLSー音量リミット）

リモコンのAVLSスイッチを「入」にすると、音量を一定のレベル以上に上げようとすると、画面に「AVLS」が表示され、それ以上音量が上がらなくなります。ヘッドホンをお使いになる場合、音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

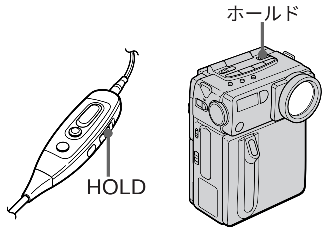
録音内容を間違って消さないために

誤消去防止つまみをずらして、孔が開いた状態にします。録音するときは、つまみを元に戻します。



誤動作を防ぐ（ホールド機能）

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されるのを防ぎます。



ホールド(リモコンはHOLD)スイッチを➡方向にずらします。本体のホールドスイッチは本体の操作ボタンが、リモコンのHOLDスイッチはリモコンの操作ボタンが働かなくなります。逆方向にずらすと、解除されます。

パワーセーブ／オートパワーオフ機能

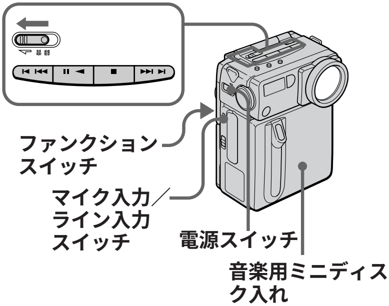
バッテリーの消耗を防ぐために、ボタン操作後5秒後に液晶画面が消えます。
また、再生、録音などを停止後、操作をしないと自動的に約5分で自動的に電源が切れます（**オートパワーオフ**）。
電源が切れた時は電源スイッチを入れると復帰します。
アクセサリーキットACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプターをつないでいるときは、パワーセーブ/オートパワーオフ機能は働きません。

ご注意

- 音楽用ミニディスクの操作中は、操作音を消すことはできません。
- ディスクタイトルのない音楽用ミニディスクは、画面に「Audio MD」と表示されます。

録音する

音楽用ミニディスクに、CDなどの音楽を録音できます。



1 マイク入力／ライン入力スイッチを、「ライン入力」にし、外部マイク音声／ライン入力端子とCDプレーヤーなどの音源となるオーディオ機器を接続する。

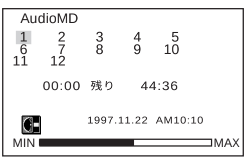
接続のしかたは、「オーディオ機器を接続する」（77ページ）をご覧ください。

2 ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」にする。

3 音楽用ミニディスクを入れる。

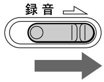
4 電源スイッチを入れる。

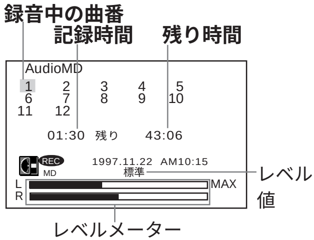
音楽用ミニディスクの操作画面が表示されます。



5 録音スイッチをスライドさせて録音を開始し、オーディオ機器の再生を始める。

録音が始まります。





録音レベルを調節する

レベル値とレベルメーターを見ながら、◀ I◀◀ 、▶▶I ▶Iボタンでレベル調節ができます。

レベルを上げる	I◀ I◀◀ ボタンを押す。
レベルを下げる	▶▶I ▶Iボタンを押す。

6 ■ボタンを押して、録音を終了する。

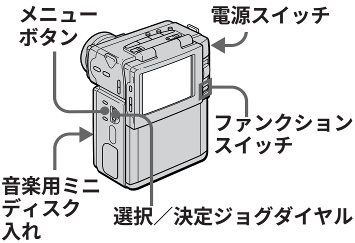
音楽用ミニディスクの最後に記録され、自動的に曲番が付きます。

ご注意

- プロテクトされた音楽用ミニディスクには記録できません。
- 途中で一時停止すると、曲番が増えます。

くり返し聞く

音楽用ミニディスク全曲のリピート、1曲のリピート、シャッフルリピートの3通りの方法があります。

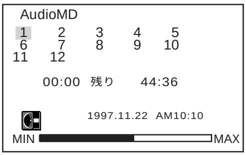


1　ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」にする。

2　音楽用ミニディスクを入れる。

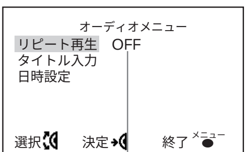
3　電源スイッチを入れる。

音楽用ミニディスクの操作画面が表示されます。



4　メニューボタンを押す。

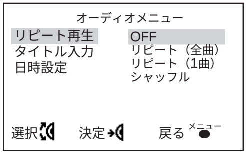
オーディオメニューが表示されます。現在の再生モードが表示されています。



現在のリピート再生モード

5　選択／決定ジョグダイヤルを回して「リピート再生」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

再生モード設定画面が出ます。



❒ OFF

1曲を1回再生する(通常再生)。

❒ **リピート（全曲）**

全曲をくり返し再生する。

❒ **リピート（1曲）**

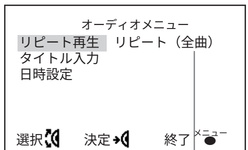
1曲をくり返し再生する。

❒ **シャッフル**

全曲を順不同にくり返し再生する。

6　選択／決定ジョグダイヤルを回して再生モードを選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

選んだ再生モードに設定され、オーディオメニューに戻ります。



新しい再生モード

7　メニューボタンを押す。

オーディオメニューが消えます。

途中で操作を中止するには

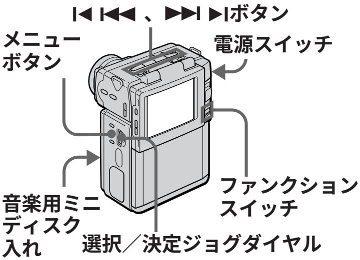
メニューボタンを押します。

ご注意

音楽用ミニディスクを再生中、オーディオメニューでリピート再生の設定をすると、現在の曲の再生が停止し、設定されたモード（シャッフルなど）になります。再生ボタンを押すと再生が開始します。

タイトルを付ける

曲またはディスクにタイトルを付けることができます。

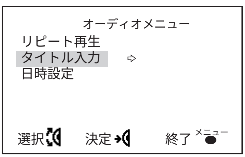


1 ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」にする。

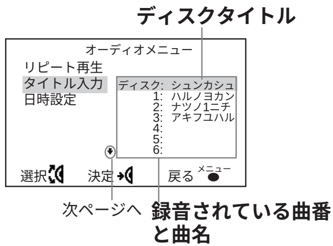
2 音楽用ミニディスクを入れる。

3 電源スイッチを入れる。
音楽用ミニディスクの操作画面が表示されます。

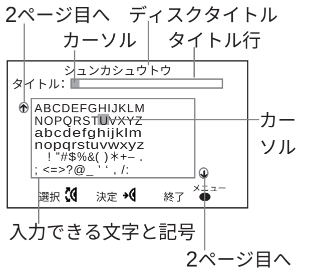
4 メニューボタンを押す。
オーディオメニューが出ます。



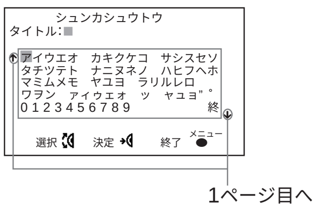
5 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「タイトル入力」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
ディスクタイトルと曲番一覧が出ます。



6 選択／決定ジョグダイヤルを回して、ディスクタイトルを付けるには「ディスク」を、曲名を付けるには曲番を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
タイトル入力画面の1ページ目が表示されます。



2ページ目

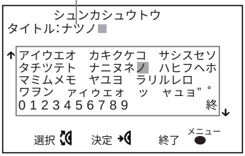


ページを切り換えるには
選択／決定ジョグダイヤルを上下に回し続けるとページが切り換ります。

7 **選択／決定ジョグダイヤルを回して、入力したい文字または記号を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。**

選んだ文字または記号がタイトル行に入力されます。

入力された文字



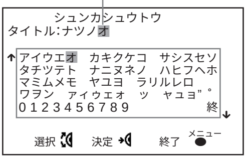
8 **手順7をくり返して、タイトルを入力する。**

200文字まで入力できます。

文字を訂正するには

▶▶I ▶I、I◀ I◀◀ ボタンで、訂正したい文字までカーソルを移動し、文字を入力し直します。文字は上書きされます。

上書きした文字



9 **メニューボタンを押す。**

タイトルが記録され、手順5のタイトル入力画面に戻ります。

他の曲またはディスクにタイトルを付ける

手順6~9をくり返します。

音楽用ミニディスクの操作画面に戻る

メニューボタンを2回押します。

途中で操作を中止する

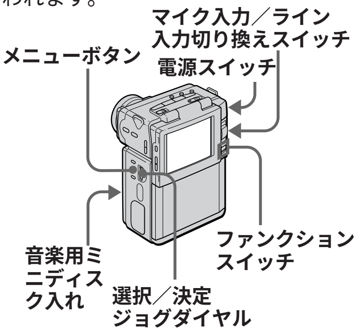
メニューボタンを押します。

ご注意

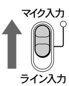
プロテクトされた音楽用ミニディスクにはタイトルを記録できません。

長時間録音する（モノラル録音）

内蔵マイクまたはモノラルの外部マイクで録音する場合は、モノラル録音になり、通常の2倍の時間録音ができます。ただし音の臨場感は損なわれます。



1 マイク入力／ライン入力切り換えスイッチを「マイク入力」にし、外部マイクを使う場合は、本機の外部マイク音声／ライン入力端子に接続する。

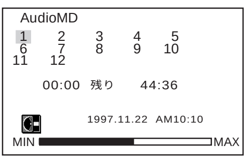


2 ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」にする。

3 音楽用ミニディスクを入れる。

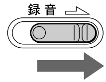
4 電源スイッチを入れる。

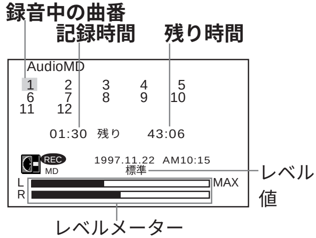
音楽用ミニディスクの操作画面が表示されます。



5 録音スイッチをスライドさせて録音を開始し、オーディオ機器の再生を始める。

録音が始まります。





録音レベルを調節する

レベル値とレベルメーターを見ながら、◀ ⏮ 、⏭ ▶|ボタンでレベル調節ができます。

レベルを上げる	|◀ ⏮ ボタンを押す。
レベルを下げる	⏭ ▶|ボタンを押す。

6 ■ボタンを押して、録音を終了する。

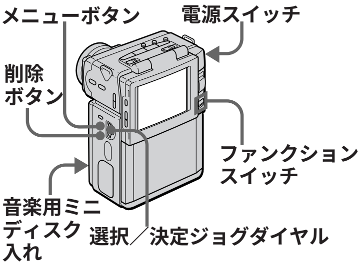
音楽用ミニディスクの最後に記録され、自動的に曲番が付きます。

ご注意

- ステレオマイクを接続した場合、ステレオ録音になります。
- プロテクトされた音楽用ミニディスクには記録できません。
- 途中で一時停止すると、曲番が増えます。

曲を消す（削除）

不要になった曲を削除できます。曲を選んで、またはディスク全体の曲を一度に削除できます。

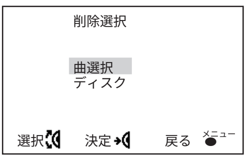


1 ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」にする。

2 音楽用ミニディスクを入れる。

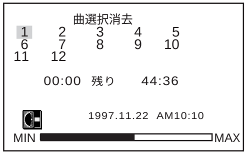
3 電源スイッチを入れる。
音楽用ミニディスクの操作画面が表示されます。

4 再生、または停止中に削除ボタンを押す。
削除選択画面が出ます。



5 選択／決定ジョグダイヤルを回して、曲を選んで削除するときは「曲選択」、ディスク全体を削除するときは「ディスク」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

「曲選択」を選んだ場合
曲選択画面が出ます。

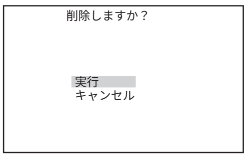


「ディスク」を選んだ場合
削除の確認画面が出ます。手順8へ進んでください。

6 選択／決定ジョグダイヤルを回して、削除したい曲を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだ曲番が反転表示します。16曲まで選べます。

曲を再生して確認する
確認したい曲を選び、▶❚❚ボタンを押します。選んだ曲が再生されます。再生を停止するには、■ボタンを押します。

7 メニューボタンを押す。
削除の確認画面が出ます。



8 選択／決定ジョグダイヤルを回して、「実行」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。
選んだ曲が削除され、音楽用ミニディスクの操作画面に戻ります。

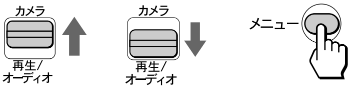
ご注意
- プロテクトされた音楽用ミニディスクの曲は消せません。
- 一度削除した曲はもとに戻せません。削除する前に内容を確認してください。

メニューを選ぶ

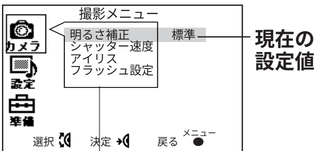
本機では、各種の設定をするためにメニューを使っています。

メニューを表示する

ファンクションスイッチを「カメラ」または「再生/オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押します。

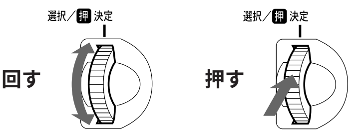


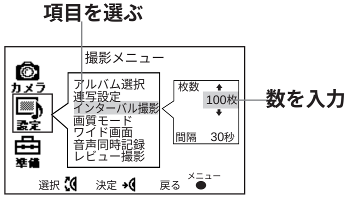
スイッチ位置	表示メニュー
カメラ	撮影メニュー
再生/ オーディオ	再生メニュー (MDデータディスク使用時) オーディオメニュー (音楽用ミニディスク使用時)



左側で選ばれている(カーソルのある項目)のメニューが表示される。選択/決定ジョグダイヤルを押すと、一番上にカーソルが移動する。

選択/決定ジョグダイヤルを使った設定のしかた





項目を選ぶ

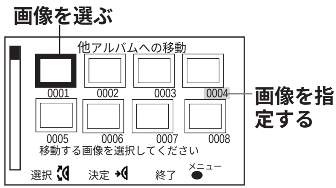
上に回す	カーソルを上に移動
下に回す	カーソルを下に移動

数を入力する

上に回す	数が増える
下に回す	数が減る

設定値を切り換える

押す	押すたびごとに設定値が切り換わる



画面上の位置を移動する

上に回す	左方向へ移動
下に回す	右方向へ移動

画像を選ぶ

上に回す	番号の小さい画像に移動
下に回す	番号の大きい画像に移動

指定または確定する

選択/決定ジョグダイヤルを押します。(指定をしているときは、もう1度押すと指定が解除されます。)

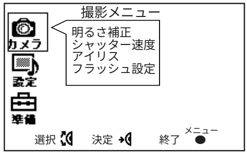
メニュー一覧

本機のメニューには撮影メニュー、再生メニュー、オーディオメニューがあります。それぞれのメニューの構造を働きについて説明します。

撮影メニュー

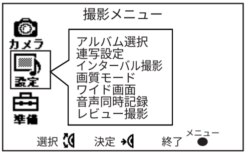
撮影の条件やモードを設定する3つのメニューで構成されています。

カメラメニュー



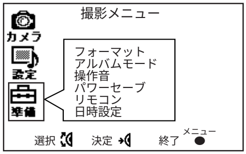
明るさ補正	明るさを補正します。➔35ページ
シャッター速度	撮影環境に適したシャッター速度を選びます。➔36ページ
アイリス	撮影環境に適した絞りを選びます。➔37ページ
フラッシュ設定	フラッシュの明るさを調節します。➔38ページ

設定メニュー



アルバム選択	画像を保存するアルバムを選びます。➔64ページ
連写設定	連写•タイムマシシン撮影時の撮影枚数と間隔を設定します。➔65ページ
インターバル撮影	インターバル撮影時の撮影枚数と間隔を設定します。➔66ページ
画質モード	撮影時の画質の圧縮率を選びます。➔67ページ
ワイド画面	再生したときに横長の画面（ワイド画面）になるように撮影できます。➔68ページ
音声同時記録	撮影時に音声も同時に記録します。➔33ページ
レビュー撮影	画面を合成するために、複数の画像を記録します。➔40ページ

準備メニュー



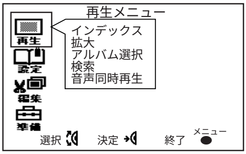
フォーマット	MDデータディスクを本機用に初期化します。➔107ページ
アルバムモード	画像と音声を1枚のMDデータディスクに記録する方法を選びます。➔71ページ
操作音	本機のボタンの操作音を消します。➔72ページ
パワーセーブ	バッテリーの消耗を防ぐためのパワーセーブ機能を切ります。➔73ページ
リモコン	付属のワイヤレスリモコンを使用するかどうかを設定します。➔74ページ
日時設定	撮影時に記録する日時を設定します。➔75ページ

次のページに続く➔

再生メニュー

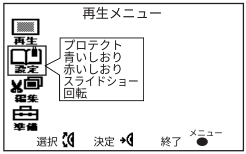
再生のしかたや画像の処理、送受信などを設定する4つのメニューで構成されています。

再生メニュー



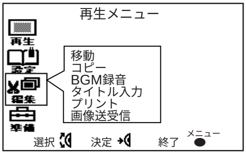
インデックス	撮影した画像を12枚ずつ再生します。➔42ページ
拡大	画像の1/4を約4倍に拡大して再生します。➔47ページ
アルバム選択	再生するアルバムを選びます。➔64ページ
検索	撮影した日時、しおり、プロテクト指定で画像を検索します。➔43ページ
音声同時再生	撮影時に記録した音声を同時に再生するかどうかを設定します。➔48ページ

設定メニュー



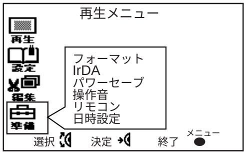
プロテクト	大事な画像を誤って消さないために、誤消去防止指定をします。➔58ページ
青いしおり	画像の分類や検索時の目安とするために青いしおりを付けます。➔57ページ
赤いしおり	画像の分類や検索時の目安とするために赤いしおりを付けます。➔57ページ
スライドショー	スライドショー再生時の再生方法（リピート再生、画像を切り換える間隔、音声の選択）を設定します。➔69ページ
回転	画像を90度単位で左または右に回転させて再生します。➔46ページ

編集メニュー



移動	アルバム内または他のアルバムに画像を移動します。➔49ページ
コピー	アルバム内、他のアルバムまたは他のディスクに画像をコピーします。➔51ページ
BGM録音	スライドショーで再生するBGMを録音します。➔60ページ
タイトル入力	画像、アルバム、ディスクにタイトルを付けます。➔55ページ
プリント	選んだ画像をデジタルカラープリンターDPP-M55に転送してプリントします。➔78ページ
画像送受信	IrDA対応の機器と画像を送受信します。➔85ページ

準備メニュー

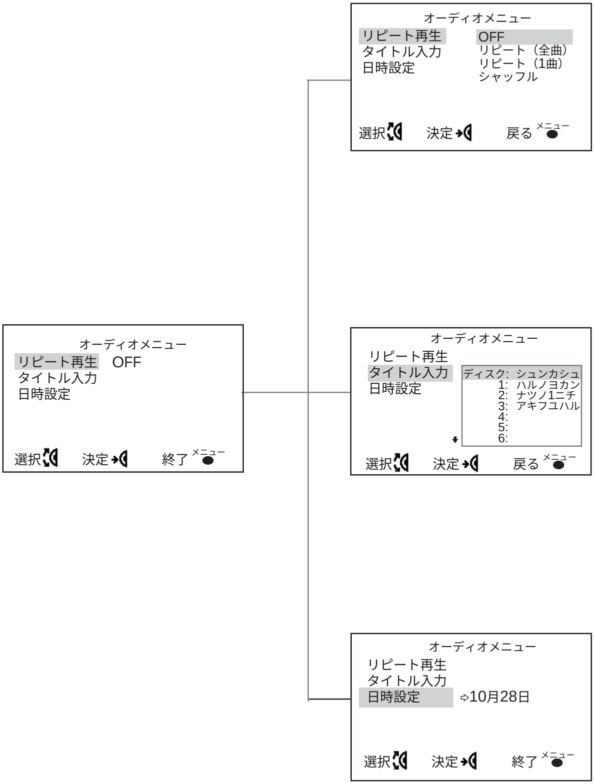


フォーマット	MDデータディスクを本機用に初期化します。➔107ページ
IrDA	パソコンとの間で、赤外線通信を行うためにIrDA送受信部を使うか、ケーブル接続をするためにI/O端子を使うかを設定します。➔82ページ
パワーセーブ	バッテリーの消耗を軽減するためのパワーセーブ機能を切ります。➔73ページ
操作音	本機のボタンの操作音を消します。➔72ページ
リモコン	付属のワイヤレスリモコンを使用するかどうかを設定します。➔74ページ
日時設定	撮影時に記録する日時を設定します。➔75ページ

次のページに続く➔

オーディオメニュー

音楽用ミニディスクの再生や録音のしかたなどを設定します。



リピート再生
くり返し曲を再生します。
➔90ページ

タイトル入力
曲またはディスクにタイトルを付けます。
➔91ページ

日時設定
録音日時を記録するために、時計を合わせます。
➔75ページ

バッテリー以外の電源で使う

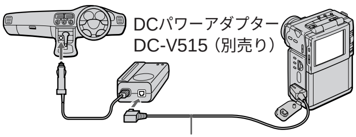
音楽用ミニディスクを再生したり、他の機器と組み合わせて使うときなど、長時間使用するときは家庭用コンセントや自動車の電源を使うと、バッテリー切れの心配なく使えます。

コンセントにつないで使う

別売りのアクセサリーキットACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプターAC-V100を使います。



自動車電源につないで使う



ご注意

- 接続コードをひっぱらないでください。プラグがコンセントから抜けることがあります。コンセントにつないで使うときは、市販の延長コードを使うことをおすすめします。
- 本機に接続コードをつないでいるとバッテリーを入れてもバッテリーを電源としては使えません。

ACパワーアダプターで充電する

本体内充電の他に、アクセサリーキットACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプターにバッテリーを取り付けて充電することもできます。詳しくは、ACC KIT-MD1の取扱説明書をご覧ください。

2個同時に充電する

本体とACパワーアダプターの両方にバッテリーを取り付けで2個同時に充電することができます。このときACパワーアダプターの充電ランプと本体の電源／充電ランプがつきます。充電が完了すると両方のランプが消えます（実用充電）。どちらかが点灯していたら両方とも実用充電が完了していません。

2個同時充電（NP-100使用時）

満充電:　約260分
実用充電：約140分
（10℃～30℃時）

バッテリーの上手な使いかた

充電について

いつ充電してもかまいません。

充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

使う前に充電してください

充電後は使わずに保存しておいても、自然に放電しますので、使う前に充電することをお勧めします。

使用可能時間について

予定撮影時間の2～3倍分のバッテリーを用意すると安心です。

寒冷地では、バッテリーの使用時間が短くなります。

温度が低い（10℃以下）と、バッテリーの性能が低下するためです。より長い時間お使いになるために、次のことをお勧めします。

- バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本機に取り付ける。カイロをお使いの場合は、直接バッテリーに触れないように、ご注意ください。
- 充電は、室温（10℃～30℃）で、本機に取り付けて、ACパワーアダプターをつないで行います。周囲の温度が低くなるほど、充電に時間がかかります。

はじめて充電するときや、長時間使用しなかったあとでは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放電、充電をくりかえすと通常の状態に戻ります。

バッテリー交換についてのご注意

バッテリーパックを交換するときは、かならず電源が切れていることを確認してから行ってください。特に、ミニディスク動作中は、データが消えることがあります。

保存方法について

なるべく涼しい場所で保存してください。

長期間お使いにならないときは、本機から取りはずして、なるべく涼しい場所で保存してください。

お手入れについて

端子部はいつもきれいにしておいてください。

端子部に異物が入ってしまった場合は、先の細い柔らかい棒で完全に取り除いたあと、バッテリーの取り付け、取りはずしを数回くり返してください。端子部の接触状態がよくなります。

知っていただきたいバッテリーの知識

バッテリーの寿命は？

バッテリーを常温で使用した場合約300回以上くり返して使えます。正しい充電を行っても使用できる時間が通常の半分くらいになった場合は、新しいものをお買い求めください。

“インフォリチウム”バッテリーをご利用いただくために

InfoLITHIUM*（インフォリチウム）バッテリーとは

“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー対応です。“インフォリチウム”バッテリーには、InfoLITHIUMマークがついています。

* InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

バッテリー残量はこうして計算される

カメラ使用時の消費電力は、その使用状況（液晶画面を使っているか、オートフォーカスがどのような動きをしたか、パワーセーブが働いているかなど）に合わせて変化します。つまり、使用状況によってバッテリーの消費量は異なります。

“インフォリチウム”バッテリーは、カメラの使用状況を確認しながら、その消費電力を測り、バッテリー残量を計算しています。そのため、使用状況の変化によっては、残量表示が一度に2分以上減ったり、増えたりすることがあります。

より正しいバッテリー残量を得るには

電源を入れ、ファンクションスイッチを「カメラ」にして、静止している被写体に約30秒以上向けたままにしておいてください。このとき、カメラは動かさないでください。

取扱説明書に記載されている連続撮影時間と残量表示が異なる理由

撮影時間は、周囲の温度や環境などにより変化し、低温下で使用すると撮影時間は特に短くなります。

取扱説明書に記載の連続撮影時間は、満充電*1（または実用充電*2）したバッテリーを摂氏20°Cの環境下で使用したときの値です。実際の使用では、周囲の温度や環境が異なるため、残量時間が取扱説明書に記載の連続撮影時間とは異なってくる、という訳です。

バッテリーの寿命のお知らせ

バッテリーには、寿命があります。その長さは使用頻度によって決まります。インフォリチウムバッテリーは、カメラの液晶画面に「このバッテリーは古くなりました。取り換えてください」というメッセージを表示し、その寿命をお知らせします。メッセージが出たら、新しいバッテリーと交換してください。

ご注意

残量時間が5〜10分と表示されているときでも、使用環境によっては液晶画面にが点滅することがあります。

＊1 満充電　ACパワーアダプターの充電ランプと本体の電源／充電ランプが消灯してから、約1時間続けて充電したときの状態

＊2 実用充電　ACパワーアダプターの充電ランプと本体の電源／充電ランプが消灯するまで充電したときの状態

使用上のご注意

分解しないでください

ミニディスクレコーダー部に使われているレーザーが目にあたると危険です。

ミニディスクレコーダー部のレンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプターについて

本機には、別売りのアクセサリーキットACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプターをご使用ください。
上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
また、ACパワーアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内(とくに夏季)。
- 風呂場など、湿気が多いところ。
- ほこりが多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
- TVやAMラジオやチューナーの近く。TVやラジオ、チューナーの雑音が入ることがあります。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。結露が起きたときは、バッテリーを取り出しミニディスクぶたを開けて、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。
結露が起こりやすいのは次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするためには、本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

操作中の動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）がある場合がありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

お使いにならないときは

持ち運ぶときやお使いにならないときは誤動作を避けるために、電源スイッチを切り、バッテリー解除／ロックスイッチを「ロック」に、ホールドスイッチを矢印の方向に合わせておいてください。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、付属のクリーニングクロスまたは別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをお勧めします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

🎧/リモコンプラグのお手入れについて

🎧/リモコンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、リモコンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

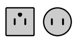
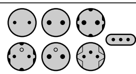
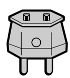
海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのアクセサリーキットACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプターAC-V100は、AC100〜240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像をテレビで見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像入力端子付きであること、および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

ミニディスクについて

ミニディスクとは

直径64mmのディスクをカートリッジに収めたデジタルメディア、それが、ミニディスク(MD)です。大きさはコンパクトディスク(CD)の約半分ですが、録音時間はほぼ同じ。音質においても、音声圧縮技術ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding) に より、CDに迫る高音質を実現しています。また、カートリッジに入っているため、指紋や傷がつきにくく、取り扱いが手軽です。

ミニディスクの種類について

一般的にミニディスクと言われているものには、音楽を楽しむミニディスク（MD）とコンピューターデータなどを扱うMDデータディスクがあります。本機では、画像の記録用に記録用MDデータディスクを使用します。

❑ MDデータディスク

DATA

コンピューターデータなどデジタルデータを扱うディスクです。次の2種類があります。

- **記録用**MD**データディスク**
  データの記録/再生用ディスクです。
- **再生専用**MD**データディスク**
  CD-ROMソフトウエアのようなデータ再生専用のディスクです。

❑ 音楽用ミニディスク

オーディオ用のディスクです。再生専用のものと録音できるものがあります。

- **再生専用ミニディスク**
  市販のコンパクトディスク（CD）ソフトと同様に音楽を聞くことのできる再生専用ディスクです。
- **録音用ミニディスク**
  録音もできるいわゆる「生ディスク」です。

「MD DATA」および「Picture MD」はソニー株式会社の登録商標です。

ミニディスクの録音について

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先:

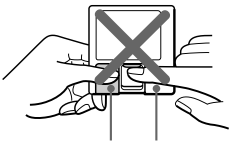
（社）私的録音補償金管理協会
Tel.03-5353-0336

ミニディスクの取り扱いについて

ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。

定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。

充電端子の汚れは

乾いた布でふきとってください。

ディスクエラーが起きたら

誤動作したり、たびたび「ディスクに異常があります」というエラーメッセージが表示される場合は、フォーマットによって、ミニディスクを修復できる場合があります。

ご注意

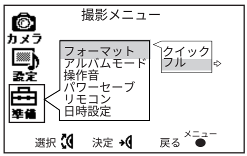
フォーマットをすると記録した画像はすべて削除されてしまい､修復できなくなります。

1 ファンクションスイッチを「カメラ」または「再生/ オーディオ」に合わせ、メニューボタンを押す。

2 「準備」にカーソルを合わせ、選択/決定ジョグダイヤルを押す。

3 「フォーマット」にカーソルを合わせ、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

フォーマット実行画面が表示されます。



4 「フル」（フルフォーマット）を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押す。

フルフォーマットには約40分かかります。フォーマット状況は画面に表示されます。詳しいフォーマットの手順は、「新しいMDデータディスクを使うときは」（19ページ）をご覧ください。

途中で中止する

■ボタンを押します。 フォーマット中止画面が表示されたら、「中止」を選び、選択／決定ジョグダイヤルを押します。中止すると、再びフォーマットするまで使用できません。

その他

システム上の制約による症状と原因

MD（ミニディスク）システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

音楽用ミニディスクについて

最大録音可能時間（60分、74分）に達していないのに録音できない

→ ミニディスクシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると録音できません。255曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚目のミニディスクに分けて録音してください。

短い曲を何曲消してもミニディスクの残り時間が増えない。

→ ミニディスクの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視するので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。

ミニディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間（60分、74分）に一致しない場合がある。

→ 通常、1クラスタ（約2秒）が最小単位で録音されます。それに満たないものでも2秒分のスペースを使います。このため、実際に使用できる時間は少なくなります。また、ミニディスクに傷があると、その部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

モノラルフォーマットのディスクでは時間が正確に表示されないことがあります。

MDデータディスクについて

画像の保存や編集に時間がかかる

数百枚の画像が入っているアルバムで、保存や編集を行うと、時間がかかります。

スライドショーでナレーションやBGMの音が途切れる

ナレーションやBGMが多く入ったMDデータディスク、または、30秒未満のBGMでは、音が途切れることがあります。

画像を取り込める枚数が少ない

編集をくり返すと記録できる画像数が減ります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。液晶画面に見慣れない表示が出たときは、112ページをご覧ください。

一般

症状	原因	処置
操作を受けつけない	バッテリーが消耗している（表示が出る）。	バッテリーを充電する。（16ページ）
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。（17ページ）
	内部システムの誤動作。	いったん電源を外し、ふたたび電源を入れて、正しく動作するか確認する。それでも操作できないときは、本体底面のリセットボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると、すべての設定が解除されます。）
	ホールド機能が働いている。	ホールドスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する(88ページ)。
	結露(内部に水滴が付着)している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おく。
	ディスクが損傷している（「ディスクに異常があります」表示が出る）。	ディスクを入れなおす。それでも「ディスクに異常があります」表示が出るときは、他のディスクと取り換える。
バッテリーの消耗が速い	バッテリーの充電が不十分。	十分に充電する。（16ページ）
	バッテリー自体が寿命。	新しいバッテリーに交換する。（102ページ）

カメラ撮影•再生時

症状	原因	処置
撮影ができない	ファンクションスイッチが「カメラ」になっていない。	ファンクションスイッチを「カメラ」にする。
	すでに限度いっぱいに撮影している。	不要な画像を削除してから撮影する。（59ページ）
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。（16ページ）
	ディスクの誤消去防止つまみが開いている。	つまみを戻す。（22ページ）
ピントがあっていない	フォーカスボタンを誤って押した。	マニュアルフォーカスを解除する。（39ページ）
ノイズが入る	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い	逆光になっている。光量が足りない。	逆光を補正する。（40ページ） 液晶画面の明るさを調節する。（23ページ）
撮影日時が記録されない	バッテリーが放電してしまった。	バッテリーを充電して、時計を合わせ直す。（75ページ）
	プリントメニューの設定が「日付なし」になっている。	プリントメニューの設定を「日付あり」にする。（80ページ）
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる	スミア現象という現象です。	故障ではありません。
黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えない。	液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。	故障ではありません。これらの点は記憶されません。
再生ができない	ファンクションスイッチが「再生/オーディオ」になっていない。	ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」にする。
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。（16ページ）
画面が削除できない	プロテクト指定がされている。	プロテクト指定を解除する。（58ページ）
赤外線データ送受信ができない	送受信する機器の送受信部が向かい合っていない受信側の機器が赤外線の届かないところにある。間に壁などがある。	送受信部を向かい合わせ、0〜30cm、中心からの左右角度15°の障害物のない所に置く。（78、82、85ページ）
	赤外線データ通信システム対応機器以外と接続しようとした。	赤外線データ通信システム対応機器以外では赤外線データ通信はできません。
	IrDAモードが「OFF」に設定されている。	「ON」に設定する。（82ページ）

症状	原因	処置
ワイヤレスリモコンが使えない	リモコンモードが「OFF」に設定されている。	「ON」に設定する。（74ページ）
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを交換する。（119ページ）

音楽用ミニディスク使用時

症状	原因	処置
通常の再生ができない	リピート再生を指定した。	オーディオメニューのリピート再生モードを「OFF」に設定する。(90ページ)
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	連続した振動の少ない場所で使う。
	ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。	–
録音・編集できない	音源と正しく接続されていない。	接続しなおす。(77ページ)
	抵抗入りの接続コードを使った（アナログ録音時）。	抵抗が入っていない接続コードを使う。
	ディスクの誤消去防止つまみが開いている）。	つまみを戻す。(88ページ)
	録音レベルが小さすぎる。	一時停止状態にして、▶▶I ▶I、I◀ I◀◀ ボタンで録音レベルを調節する。(89ページ)
	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取り換える。
	ディスクの残り時間が12秒以下である。	他の録音用ディスクと取り換える。
ヘッドホンから音が出ない	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれない。	🎧/リモコンジャックにしっかり差し込む。(88ページ)
	音量が小さすぎる。	音量 ＋/－ボタン(リモコンのVOL ＋/－ボタン)で音量を調節する。
録音日時が記録されない	時計合わせをしていない。	時計を合わせる。(75ページ)

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面には、次のような表示が出ます。下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味と対策
バッテリーを交換してください(表示が出る)	バッテリーの残量がない、バッテリーの残量が少なく、フラッシュ撮影が行えない。 ➜ バッテリーを充電する。（16ページ） **ご注意** ご使用中に「バッテリーをチャージして下さい」と表示され、自動的に電源が切れたときは、使用中のバッテリーの使用をやめ、ACパワーアダプターを使用するか、充電した新しいバッテリーと交換してください。一度使い切ったバッテリーでも本機の電源は入りますが、すぐに消耗し、正常に終了する前に電源が切れてしまい、内部の画像データが破壊されることがあります。
アルバムを作成しますか？	アルバム（PictureMD）フォーマットしていないディスクは使用できない。 ➜ 「実行」を選びアルバム用にフォーマットする。（19ページ）
ディスクが壊れています/フォーマットできませんでした　ディスクを入れ替えて下さい	ディスクに異常があり、フォーマットできない。または再生専用のディスクを挿入した。 ➜ 新しい記録用MDデータディスクを入れる。（19ページ）
ディスクがいっぱいです	すでに限度いっぱいまで画像が記録されている。 ➜ 不要な画像を削除するか、新しいディスクに入れ換える。（19、59ページ）
アルバムを変更してください	すでに1つのアルバム内に保存できる限度（最大1000枚）まで画像が記録された。 ➜ 他のアルバムを選ぶ。（64ページ）
ディスクがプロテクトされています	ディスクの誤消去防止つまみが開いている。 ➜ つまみをもとに戻す。（22ページ）
Audioミニディスクです	ファンクションスイッチが「カメラ」のときに、音楽用ディスクを入れた。 ➜ 記録用MDデータディスクに入れ換える。（19、106ページ）
このディスクは記録できません	再生専用のディスクを入れた。 ➜ 記録用ディスクに入れ換える。（19、106ページ）
ディスクを修復します MDの修復中です	記録中にエラーが発生したため、自動的に修復を行う。 ➜ 自動的に修復が終わるまでお待ちください。
画像がありません	画像を記録せずに、ファンクションスイッチを「再生/オーディオ」にした。 ➜ 画像を記録してから再生する。
画像読み込み中	ディスクに記録されている画像数によっては、画像読み込みには数秒から数分かかる。

表示	意味と対策
記録中です お待ち下さい	画像を保存中はシャッターを押しても撮影できない。 ➔ 表示が消えてから再度シャッターを押す。
最後の画像は記録できませんでした	電源がなくなった。 ➔ バッテリーを充電する。（16ページ）
プロテクトされています	プロテクト指定された画像は削除できない。 ➔ プロテクト指定を解除してから削除する。（58ページ）
再生専用ディスクです	再生専用のディスクに記録はできない。 ➔ 記録用ディスクに入れ換える。（88ページ）
プロテクトされた画像が残っています	「全画像」削除を選んだときも、プロテクト指定された画像は削除できない。 ➔ プロテクト指定を解除してから削除する。（58ページ）
表示できません	画像の再生に失敗した。 ➔ ファンクションスイッチを「切」にして、もう一度再生する。
プリントできません	プリンターになんらかの障害がある、赤外線による接続ができない、対象外の機器と接続しようとした、プリンターの準備ができていない。 ➔ プリンターの状態と、プリンターと本機が赤外線送受信可能範囲内に置かれているかどうかを確認し、もう一度プリントしてみる。（78ページ）
画像送受信できません	赤外線による接続ができない、対象外の機器と接続しようとした、通信先の機器のメモリー残量がない。 ➔ 受信側のデジタルスチルカメラなどのメモリー残量と、送受信機が赤外線送受信可能範囲内に置かれているかどうかを確認し、もう一度送受信してみる。（85ページ）
日時をセットしてください	時計がセットされていない。 ➔ 時計合わせをする。（75ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：** DSC-MD1
- **故障の状態： できるだけ詳しく**
- **購入年月日**

主な仕様

カメラ部

形式

MDデータディスクデジタルスチルカメラ

映像信号出力

NTSCカラー、EIA標準方式

撮影素子

1/3インチCCD（640・480）
正方格子、原色フィルター、全画素読み出し方式

レンズ

6群9枚、3倍ズーム
焦点距離 f = 5.2 ~ 15.6 mm
（f = 37~111 mm､35 mmカメラ換算）
インナーフォーカス/マクロ付き
F 2.0 ~ 2.1

測光方式

TTL測光方式

露出制御

自動（AEシフト機能あり）

ホワイトバランス

自動

データ圧縮方式•記録枚数

JPEG方式
ファインモード　(128 KB)
スタンダードモード (64KB)

画像データ形式

Picture MD準拠
主画面： 640・480 (VGA)
インデックス画面： 80・60

記憶媒体

MDデータディスク

フラッシュ

オート／強制発光／発光禁止
使用距離: 0.8m~5m
直列制御自動調光方式

シャッター速度

オート撮影時：
自動可変(1/30～ 1/1000）
マニュアル撮影時：
1/4～ 1/4000より選択

最大記録枚数（画像のみ記録時）

2000枚（スタンダード）／
1000枚（ファイン）

オーディオ部

形式

ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式

磁界変調光学方式

再生読み取り方式

非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー

GaAIAsダブルヘテロダイオード、
λ=780nm

録音再生時間

最大148分(MDW-74使用、モノラル録音、再生時)
最大74分(MDW-74使用、ステレオ録音、再生時)

回転数

約400rpm～900rpm(CLV)

エラー訂正方式

アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード (ACIRC)

サンプリング周波数

44.1kHz

コーディング

アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング
(ATRAC)

変調方式

EFM

チャンネル数

ステレオ2チャンネル
モノラル1チャンネル

周波数特性
20〜20,000Hz±3dB
ワウフラッター
測定限定値以下

液晶画面

画面サイズ
2.5型 (横280トリオ×縦220ライン)
使用液晶パネル
TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数
61,600ドット

入・出力端子

AV**出力端子**
ミニジャック、1 Vp-p、75 Ω
不平衡、同期負（ビデオ）
デジタルI/O**端子**
ステレオミニジャック
（3.5mmミニジャック）
RS-232C準拠
9.6 kbps 〜 115.2 kbps
外部マイク入力／音声ライン入力兼用
アナログ、3.5mmミニジャック
赤外線送受信部
IrDA1.1準拠
9.6 kbps 〜 1.152 Mbps

電源・その他

電源
外部電源ジャック: 定格DC 8.4 V
アクセサリーキットACC KIT-MD1に付属のACパワーアダプター AC-V100（別売り）
バッテリー持続時間
バッテリーの持続時間については、「撮って見る」（18ページ）をご覧ください。
消費電力
撮影時4.3 W、再生時3.3 W
動作温度
0 ℃〜＋40 ℃
保存温度
−20 ℃〜＋60 ℃
最大外形寸法
約87×116×56 mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）
質量
本体　約490 g　（バッテリー、レンズキャップ、ミニディスク含まず）
約600 g （バッテリーNP-F100、レンズキャップ、ミニディスク含む）
付属品
ワイヤレスリモコン（1）
バッテリー端子カバー（1）
単3形乾電池（2）
AV接続ケーブル（1）
リモコン付きヘッドホン（1）
レンズキャップ（1)
クリーニングクロス（1）
MDデータディスク（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

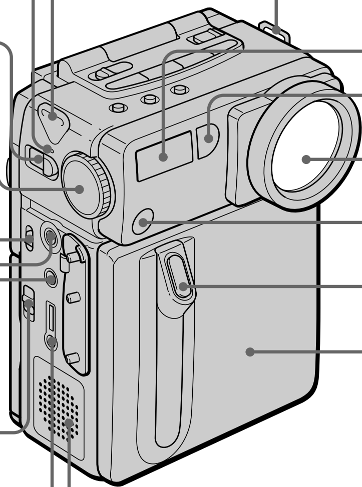
別売りアクセサリー

アクセサリーキット
ACC KIT-MD1
パソコン接続キット
DSKIT-PC4（Windows/Macintosh用）
デジタルカラープリンター
DPP-M55
赤外線通信アダプター
DSKIT-IR2W（IBM PC/ATおよび互換機用）
デジタルピクチャーアルバム
DPA-1

各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。

本体



電源/充電ランプ
電源を入れているときと充電中に点灯します。

電源スイッチ（21ページ）

プログラムAEダイヤル（34ページ）

マイク入力/ライン入力切換スイッチ（77ページ）

外部マイク音声／ライン入力端子（77ページ）

AV**出力端子**（76ページ）

バッテリー解除/ロックスイッチ（16ページ）

🎧/リモコン端子（88ページ）

ハンドストラップ取り付け部

フラッシュ発光部

フラッシュ受光部

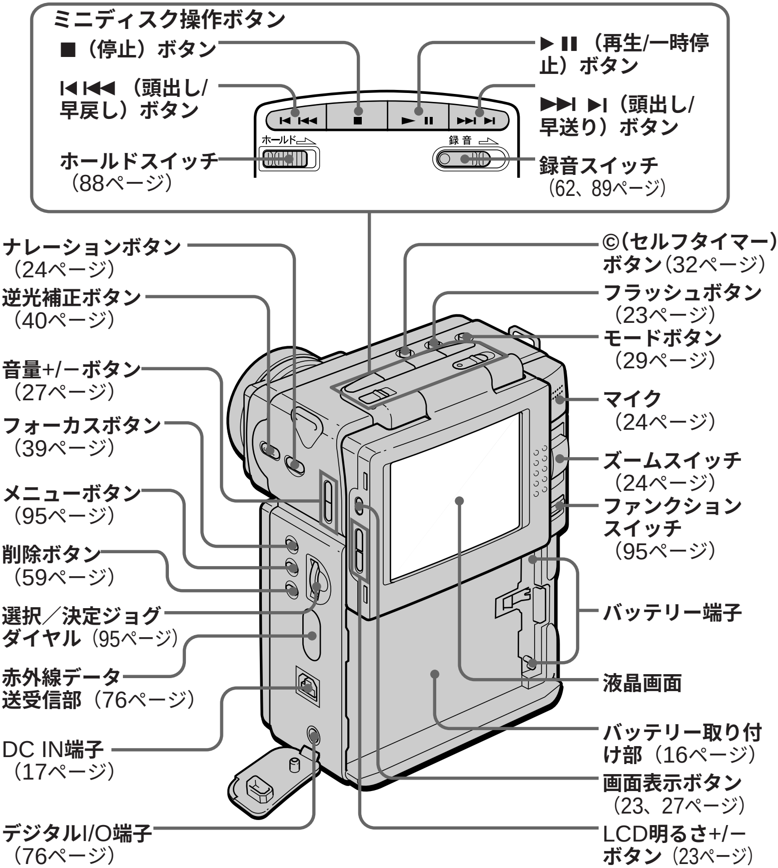
レンズ

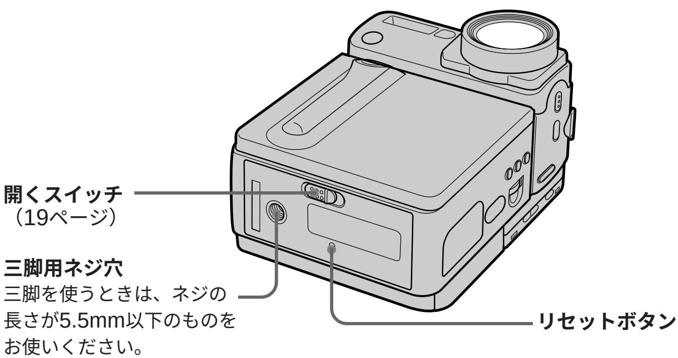
リモコン受光部

シャッターボタン

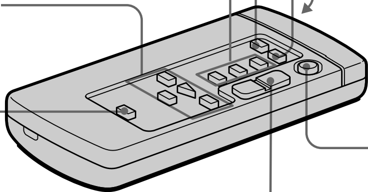
ミニディスクぶた

スピーカー（26ページ）


ミニディスク操作ボタン
■（停止）ボタン
▶ II（再生/一時停止）ボタン
I◀ I◀◀（頭出し/早戻し）ボタン
▶▶I ▶I（頭出し/早送り）ボタン
ホールドスイッチ（88ページ）
ホールド
録 音
録音スイッチ（62、89ページ）
ナレーションボタン（24ページ）
逆光補正ボタン（40ページ）
音量+/−ボタン（27ページ）
フォーカスボタン（39ページ）
メニューボタン（95ページ）
削除ボタン（59ページ）
選択／決定ジョグダイヤル（95ページ）
赤外線データ送受信部（76ページ）
DC IN端子（17ページ）
デジタルI/O端子（76ページ）
©（セルフタイマー）ボタン（32ページ）
フラッシュボタン（23ページ）
モードボタン（29ページ）
マイク（24ページ）
ズームスイッチ（24ページ）
ファンクションスイッチ（95ページ）
バッテリー端子
液晶画面
バッテリー取り付け部（16ページ）
画面表示ボタン（23、27ページ）
LCD明るさ+/−ボタン（23ページ）

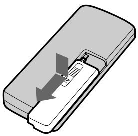

開くスイッチ（19ページ）
三脚用ネジ穴
三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm以下のものをお使いください。
リセットボタン

ワイヤレスリモコン

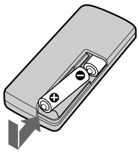


バッテリーの入れかた

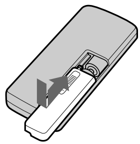
❶ 押しながらずらす。



❷ 入れる。単3形2本



❸ もとに戻す。



乾電池について

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは､取り出しておいてください。

液もれがおこったときは、バッテリー入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

ワイヤレスリモコンについて

本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

ワイヤレスリモコンの操作範囲

ワイヤレスリモコンの届く範囲は屋内使用時で約5mです。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。

ワイヤレスリモコンとリモコン受光部との間には

障害物がないようにご注意ください。

リモコン付きヘッドホン

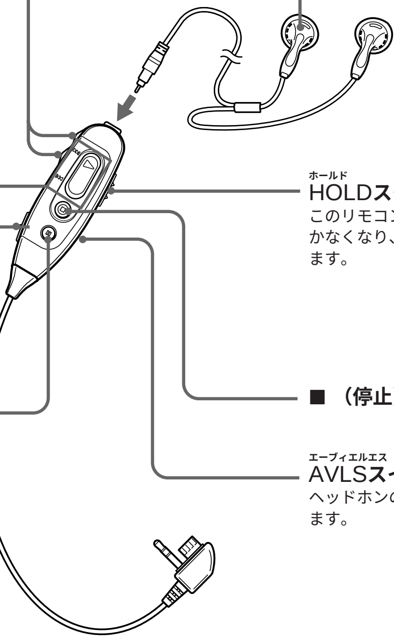
ヘッドホン
別売りのヘッドホンに
付け替えられます。

ボリューム
VOL（音量）
＋／－ボタン

►（再生）/
⏮/⏭（頭出し、
早戻し／早送り）
ボタン
停止中に押すと►（再生）、
再生中に⏭側を押すと
頭出し、早送り、再生中に
⏮側を押すと頭出し、
早戻しとなります。

トラックマーク
TRACK MARK
ボタン
本機では、このボタンは
使用できません。

❚❚（一時停止）
ボタン



ホールド
HOLDスイッチ
このリモコンのボタンが働
かなくなり、誤操作を防ぎ
ます。

■（停止）ボタン

エーブイエルエス
AVLSスイッチ
ヘッドホンの音もれを防ぎ
ます。

用語解説

ア行

アルバム…14ページ
本機で画像を保存、表示する単位。複数の画像を1つのアルバムとしてまとめて保存することにより、アルバムをめくるように画像を表示することができる。

インデックス画面…42ページ
12枚の画像を一度に表示する画面。画像の検索に便利。

インターバル撮影…31ページ
花の開花記録などを撮影する場合など、一定の時間毎に長い時間撮影する連写モード。

オート撮影…21ページ
被写体や撮影状況に応じて最適な明るさで撮影を可能にする機能。シャッター速度やアイリス（絞り）を自動で調節する。

カ行

画像メモ …55ページ
画像の下に表示するタイトル。

逆光 …40ページ
太陽の強い光の方向に被写体がある場合、被写体が黒っぽく映る。撮影メニューの明るさ調節またはフラッシュにより補正できる。

サ行

しおり…57ページ
分類、検索用に画像に付けるマーク。本機では青と赤のしおりがある。

スライドショー…45ページ
番号の小さい画像から順に画像を切り換えながら再生する機能。BGMなどの音声も同時に再生できる。

赤外線データ通信システム…28ページ
画像データなどケーブルを接続せずにを赤外線により高速で通信するシステム。デジタルカメラのほかに、パソコン、プリンターなどが採用している。本機は、IrDA規格に対応している。

タ行

タイムマシン撮影モード…30ページ
シャッターを押したときの画像のほかに、その前後の画像も連続して撮るモード。シャッターチャンスを捉える場合に便利。

ナ行

ナレーション…24ページ
画像と同時に記録される音声のこと。画像と同時に再生することができる。

ハ行

パワーセーブ機能…73ページ
バッテリーの消耗を防ぐため、撮影時、操作していないときに自動的に液晶画面を消したり、電源を切る機能。

プロテクト指定…58ページ
誤消去防止機能。画像に指定することにより、削除することができなくなる。

プログラムAE（エーイー） …34ページ
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には3種類のモードがある。シャッター速度やアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

次のページに続く➔

マ行

マニュアル撮影…34ページ
シャッター速度や明るさ、アイリス（絞り）などを撮影メニューで調節することができる。

マルチ画面連写モード…31ページ
シャッターを押したときから9枚の画像を連続して撮り、1画面に記録するモード。1画面で速い動きを確認するのに便利。

ラ行

連写モード…29ページ
シャッターを一度押すことにより、シャッターを押したときから複数の画像を連続して撮ること。本機には、通常の連写モードの他に、タイムマシン撮影モード、マルチ画面連写モード、インターバル撮影モードがある。

ワ行

ワイド画面モード …68ページ
再生したときにワイド画面（横:縦＝16:9）になるように撮影するときの設定。

アルファベット順

エイブィエルエス
AVLS（音もれ防止）…88ページ
ヘッドホンの音もれを防ぐために、音量ボタンを押しても一定範囲に音量を抑える機能。

AF（オートフォーカス）…21ページ
撮影状況にあわせて、自動的に焦点を合わせる撮影方法。

アイアールディーエィ
IrDA…28ページ
本機が採用している赤外線データ通信の規格名。

ジェイペグ
JPEG…67ページ
本機が採用している画像データの圧縮フォーマット。フォーマット名の由来は自然画像の静止画の標準化を行ったグループ名（Joint Photographic Experts Group）。

エヌティーエスシー
NTSC方式 …105ページ
日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録された画像は、ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のテレビでは再生できない。海外で本機を使うときは、ご注意ください。

ピクチャーエムディー
PictureMD形式…14ページ
MDデータディスクへの画像の保存形式。画像はアルバム単位で保存、記録、表示される。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

その他

次のページに続く➔

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

使いかたのご相談、故障のご連絡は

DSC-MD1**カスタマーサポート専用ラインへ**

Tel:　　0564-62-9743
Fax:　　0564-62-9744
受付時間（月〜金）午前10時〜午後5時
（年末年始、祝日を除く）

Printed in Japan

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

使いかたのご相談、故障のご連絡は

DSC-MD1**カスタマーサポート専用ラインへ**

Tel:　0564-62-9743
Fax:　0564-62-9744
受付時間（月～金）午前10時～午後5時
（年末年始、祝日を除く）

Printed in Japan